

第26回高校生ものづくりコンテスト全国大会実施要項

1 趣旨

近年、若者の製造業離れが進み、ものづくりの技術・技能の継承が危ぶまれている。我が国の持続的発展を維持するためには、産業を支える技術・技能水準の向上を図るとともに、若年技術・技能労働者を確保し、育成することが急務である。

公益社団法人全国工業高等学校長協会（以下「全工協会」という。）では、各高等学校で取り組んでいる、ものづくりの学習成果の発表の場として、全国の高校生が一堂に会して、技術・技能を競い合う全国的な大会を企画し、これまでに24回開催した。第12回大会からは、全国9地区を順番に開催しており、今回は北海道地区で、旋盤作業、自動車整備、電気工事、電子回路組立、化学分析、木材加工、測量、溶接の8部門において実施する。

2 日程

第1日 令和8年(2026年)11月14日(土)

9時00分 関係者集合
9時30分 会場等準備
12時00分 受付
12時30分 部門ごと打合せ(説明、練習作業等)
15時00分 来賓・審査員受付
16時00分 開会式
17時00分 解散

第2日 令和8年(2026年)11月15日(日)

8時00分 関係者集合
8時20分 受付
9時00分 競技開始
11時30分 競技終了、片付け、昼食
14時30分 閉会式、記念撮影
15時30分 解散、後片付け

※ なお、旋盤作業部門は11月14日(土)から16日(月)までの3日間で開催するものとし、詳細は旋盤作業部門実施要項を参照のこと。

3 会場

- (1) 開・閉会式 各競技会場
(2) 競技会場

部 門	会 場
旋 盤 作 業	北海道職業能力開発大学校 〒047-0292 北海道小樽市銭函3-190 TEL 0134-62-3553
自 動 車 整 備	専門学校北海道自動車整備大学校 〒007-0892 北海道札幌市東区中沼西2条1-12-25 TEL 011-790-1205
電 気 工 事	北海道旭川工業高等学校 〒078-8804 北海道旭川市緑が丘東4条1-1-1 TEL 0166-65-4115
電子回路組立	北海道苫小牧工業高等学校 〒053-0035 北海道苫小牧市字高丘6-22 TEL 0144-36-3161
化 学 分 析	北海道札幌琴似工業高等学校 〒063-0833 北海道札幌市西区発寒13条11-3-1 TEL 011-661-3251
木 材 加 工	北海道釧路工業高等学校 〒085-0821 北海道釧路市鶴ヶ岱3-5-1 TEL 0154-41-1285
測 量	北海道帯広工業高等学校 〒080-0872 北海道帯広市清流西2-8-1 TEL 0155-48-5650
溶 接	北海道立苫小牧高等技術専門学院(MONOテク苫小牧) 〒053-0052 北海道苫小牧市新開町4-6-10 TEL 0144-55-7007

4 主催 公益社団法人全国工業高等学校長協会

5 主管 北海道地区工業高等学校長会

6 共催 北海道教育委員会(申請予定)

7 後援 文部科学省 経済産業省 厚生労働省 国土交通省 農林水産省 (公財)産業教育振興中央会
(公財)日本自動車教育振興財団 中央職業能力開発協会 (一社)日本溶接協会 (申請予定、順不同)

8 参加資格

- (1) 全工協会会員校に在籍し、卒業後の進路先を報告できる生徒とする。
(2) 次の保険に加入していること。なお、②、③の費用については、主催者が負担する。
① 独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済
② 産業教育振興中央会賠償責任保険
③ 産業教育振興中央会傷害保険

9 競技部門及び生徒

(1) 競技部門及び出場選手数

部 門	出場選手数		
	各地区選出	開催地選出	計
旋 盤 作 業	9	1	10
自 動 車 整 備	9	1	10
電 気 工 事	9	1	10
電子回路組立	9	1	10
化 学 分 析	9	1	10
木 材 加 工	9	1	10
測 量	27 (9組)	3 (1組)	30 (10組)
溶 接	9	1	10
合 計	90名	10名	100名

(2) 出場者の決定

- ① 出場者は、全工協会が組織する全国9地区及び開催地の校長会から推薦された生徒とする。その選出方法は、該当校長会に一任する。
- ② 各地区及び開催地から推薦できる出場者を、令和8年(2026年)9月18日(金)までに、所定の用紙を用いて大会実行委員長まで報告すること。

10 表彰

- (1) 各賞の表彰は、部門ごとに行うものとし、全工協会理事長賞を授与する。ただし、各省庁、(一社)日本溶接協会、(公財)産業教育振興中央会については申請予定としている。
また、各部門の第1位から第3位は、評価結果を公表し表彰する。それ以外は総合点だけ公表する。
- (2) 各部門の第1位から第3位は、ジュニアマイスター顕彰制度の得点として申請することができる。
- (3) 各部門の第4位以下については、敢闘賞を授与する。

11 審査

- (1) 審査基準の策定と公表
 - ① 審査基準は、事前に策定し公表する。
 - ② 審査員は、審査基準に従い審査判定する。
 - ③ 同点の場合の優先順位は、あらかじめ協議しておく。
- (2) 審査員
審査員は、企業の技術者、学識経験者などに委嘱するものとし、各部門3名を基本とする。

12 費用

- (1) 大会参加費は無料とする。
- (2) 次のように補助金を支給する。ただし、引率教員への補助は行わない。
 - ① 交通費は、一定の割合額を補助する。
 - ② 宿泊費は、一定額を補助する。

13 競技規定

- (1) 各競技とも課題に併記する。
- (2) 全工協会のWebページに掲載する。

14 その他

宿泊場所は、各自で手配する。

15 問合せ

- (1) 公益社団法人全国工業高等学校長協会
(〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-8-1、TEL 03-3261-1500、FAX 03-3261-2635)
 - (2) 大会実行委員長 北海道札幌工業高等学校 校長 諸橋 宏明
(〒060-0820 北海道札幌市北区北20条西13丁目、TEL 011-727-3341、FAX 011-727-3344)
 - (3) 大会事務局長 北海道札幌工業高等学校 副校長 佐藤 靖敏
(〒060-0820 北海道札幌市北区北20条西13丁目、TEL 011-727-3341、FAX 011-727-3344)
- ・運営等に関する問合せ monocon-sakko@hokkaido-c.ed.jp
 ・競技課題に関する問合せ monocon-sakko-qa@hokkaido-c.ed.jp

※ 問合せについては、公開している「第26回高校生ものづくりコンテスト全国大会に関する問合せについて」に基づいて行うこと。

1 趣 旨

近年、若者の製造業離れが進み、ものづくりの技術・技能の継承が危ぶまれている。我が国の持続的発展を維持するためには、産業を支える技術・技能水準の向上を図るとともに、若年技術・技能労働者を確保し、育成することが急務である。

公益社団法人全国工業高等学校長協会（以下、全工協会という）では、各高等学校で取り組んでいる、ものづくりの学習成果の発表の場として、全国の高校生が一堂に会して、技術・技能を競い合う全国的な大会を企画し、実施してきた。

第12回大会より全国9地区を廻っての開催となり、令和9年度は中国地区において、旋盤作業、自動車整備、電気工事、電子回路組立、化学分析、木材加工、測量、溶接の8部門で実施する。

2 日 程

第1日 令和9年11月13日（土）

9時00分 関係者集合
9時30分 会場等準備
12時00分 受付
12時30分 部門ごと打合せ（説明、練習作業等）
15時00分 来賓・審査員受付
16時00分 開会式
17時00分 解散

第2日 令和9年11月14日（日）

8時00分 関係者集合
8時20分 受付
9時00分 競技開始
11時30分 競技終了、片付け、昼食
14時30分 閉会式、記念撮影
15時30分 解散、後片付け

3 会 場

(1) 開・閉会式 各競技会場

(2) 競技会場

部 門	会 場
旋 盤 作 業	広島県 広島職業能力開発促進センター ポリテクセンター広島 〒730-0825 広島県広島市中区光南5-2-65 TEL 082-245-0267
自 動 車 整 備	岡山県 一般社団法人 岡山県自動車整備振興会 〒701-1133 岡山市北区富吉5301-8 TEL 086-259-3500
電 気 工 事	広島県 広島県立広島工業高等学校 〒734-0001 広島県広島市南区出汐2-4-75 TEL 082-254-1421
電子回路組立	広島県 広島県立広島工業高等学校 〒734-0001 広島県広島市南区出汐2-4-75 TEL 082-254-1421
化 学 分 析	広島県 広島県立広島工業高等学校 〒734-0001 広島県広島市南区出汐2-4-75 TEL 082-254-1421
木 材 加 工	広島県 広島県立広島工業高等学校 〒734-0001 広島県広島市南区出汐2-4-75 TEL 082-254-1421
測 量	広島県 広島県立広島工業高等学校 〒734-0001 広島県広島市南区出汐2-4-75 TEL 082-254-1421
溶 接	岡山県 岡山県立岡山工業高等学校 〒700-0013 岡山県岡山市北区伊福町4-3-92 TEL 086-252-5231

4 主 催 公益社団法人全国工業高等学校長協会

5 主 管 中国地区高等学校工業教育研究会

6 共 催 広島県教育委員会 岡山県教育委員会 鳥取県教育委員会 島根県教育委員会 山口県教育委員会
広島市教育委員会 岡山市教育委員会（申請予定、順不同）

7 後 援 文部科学省 経済産業省 厚生労働省 国土交通省 農林水産省
（公財）産業教育振興中央会 （公財）日本自動車教育振興財団 中央職業能力開発協会
（一社）日本溶接協会（申請予定、順不同）

8 参加資格

(1) 全工協会会員校に在籍し、卒業後の進路先を報告できる生徒であること。

(2) 独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済に加入していること。

※主催者側では産業教育振興中央会賠償責任保険、産業教育振興中央会傷害保険に加入します。

9 競技部門及び生徒

(1) 競技部門及び出場選手数

部 門	出場選手数		
	各地区選出	開催地選出	計
旋 盤 作 業	9	1	10
自 動 車 整 備	9	1	10
電 気 工 事	9	1	10
電子回路組立	9	1	10
化 学 分 析	9	1	10
木 材 加 工	9	1	10
測 量	27 (9組)	3 (1組)	30 (10組)
溶 接	9	1	10
合 計	90名	10名	100名

(2) 出場者の決定

- ① 出場者は、全工協会が組織する全国9地区及び開催地の校長会から推薦された生徒とする。その選出方法は、当該校長会に一任する。
- ② 各地区及び開催地から推薦できる出場者を、令和9年9月10日（金）までに、所定の用紙を用いて大会実行委員長まで報告すること。

10 表 彰

(1) 各賞

表彰は部門ごとに行うものとし、全工協会理事長賞を授与する。ただし、各省庁、(公財)産業教育振興中央会については申請予定。

また、各部門第1位から第3位までは、評価結果を公表し表彰する。それ以外は総合点だけ公表する。

(2) ジュニアマイスター顕彰制度の得点対象

各部門第1位から第3位は、ジュニアマイスター顕彰制度の得点として申請することができる。

(3) 敢闘賞

各部門第4位以下については、敢闘賞を授与する。

11 審 査

(1) 審査基準の策定と公表

- ① 審査基準は、事前に策定し公表する。
- ② 審査員は、審査基準にしたがい審査判定する。
- ③ 同点の場合の優先順位は、あらかじめ協議しておく。

(2) 審査員

審査員は、企業の技術者、学識経験者などに委嘱するものとし各部門3名を基本とする。

12 費 用

(1) 大会参加費無料

(2) 補助金

- ① 交通費 一定の割合額を補助する。
- ② 宿泊費 一定額を補助する。
- ③ 引率教員への補助はしない。

13 競技規定

- (1) 各競技とも課題に併記する。
- (2) 全工協会の Web ページに掲載する。

14 その他

宿泊場所は、各自で予約する。

15 問合せ

- (1) 公益社団法人全国工業高等学校長協会
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-8-1
TEL 03-3261-1500 FAX 03-3261-2635
- (2) 大会実行委員長 鳥取県立米子工業高等学校 校長 松川 明義
〒683-0052 鳥取県米子市博労町4-220
TEL 0859-22-9211 FAX 0859-22-9212
- (3) 大会事務局 広島県立広島工業高等学校 校長 河野 幸浩
〒734-0001 広島県広島市南区出汐2-4-75
TEL 082-254-1421 FAX 082-253-3407
- (4) 運営等に関する問合せ先
hiroshima-th@hiroshima-c.ed.jp
- (5) 競技課題に関する問合せ先

部 門	問合せ先	部 門	問合せ先
旋 盤 作 業	hiroshima-th@hiroshima-c.ed.jp	化 学 分 析	hiroshima-th@hiroshima-c.ed.jp
自 動 車 整 備	okako10092@gse.okayama-c.ed.jp	木 材 加 工	hiroshima-th@hiroshima-c.ed.jp
電 気 工 事	hiroshima-th@hiroshima-c.ed.jp	測 量	hiroshima-th@hiroshima-c.ed.jp
電子回路組立	hiroshima-th@hiroshima-c.ed.jp	溶 接	okako10092@gse.okayama-c.ed.jp

ジャパンマイコンカーラリー 2027 全国大会

開催要項

1 目 的

マイコンカーラリー競技をととしてメカトロニクス技術の基礎・基本の習得、自発的・創造的な学習態度の育成を図るとともに、ものづくりによる課題解決型教育を推進し、新技術への夢を育む。

2 主 催

公益社団法人 全国工業高等学校長協会

3 主 管

ジャパンマイコンカーラリー 2027 実行委員会

4 後 援（予定）

文部科学省、香川県、香川県教育委員会、高松市、高松市教育委員会
学校法人片柳学園 東京工科大学 日本工学院専門学校 日本工学院八王子専門学校
公益財団法人日本自動車教育振興財団

5 開催日時

令和 9 年 1 月 9 日（土）受 付 8：00 開 会 式 9：30 予選開始 10：10
1 月 10 日（日）受 付 8：00 競技開始 8：40 終了予定 15：30

6 会 場

高松市総合体育館
〒760-0066 高松市福岡町 4-36-1 Tel. 087-822-0211

7 大会運営

大会は、ジャパンマイコンカーラリー大会運営規則及び各競技規則に基づき実施される。

8 競技方法

- (1) Advanced Class、Basic Class、Camera Class（個人戦）
競技は 2 台並走のタイムレースとし、4 回の予選走行のベストタイムと、成績上位による決勝トーナメントによって行う。
- (2) 地区対抗団体戦
抽選によって決められたトーナメントで地区選出代表の対抗戦を行う。Camera－Basic－Advanced の順に走行を行い、左記に 2 勝した地区を勝者とする。なお、3 戦で勝敗が決しない場合は、地区対抗団体戦の競技規則により勝敗を決定する。
- (3) その他
詳細は、大会運営規則及び各競技規則によるものとする。

9 参加資格

原則として、本協会会員校、又は特別支援学校の高等部に在籍し、地区大会において代表権を獲得した者。ただし、本協会会員校以外の高校生の出場については、全国大会参加登録費 3,000 円＋地区大会参加費を納入した者は、特例として参加資格を与えることとする。

10 大会参加申込

- (1) 申込期日は、地区ごとに主管校と協議して定める。
- (2) 参加登録は、各地区主管校を通して行う。
- (3) エントリーは一人一台とし、複数台の登録はできない。また、地区大会を含めて Advanced Class、Basic Class 及び Camera Class への重複登録はできない。
- (4) 地区対抗団体戦は、個人戦との重複登録はできない。

11 参加登録費

- (1) 参加登録費は全国大会費用として 2,000 円、及び地区大会参加費の合計金額とし、地区大会参加費は各地区にて決定する。本協会会員校以外の高校生は参加登録費として 3,000 円及び地区大会参加費を支払うものとする。
- (2) 地区大会事務局は、地区大会参加者名簿を作成し、参加登録台数×2,000 円（本協会会員校以外は 3,000 円）を、実行委員会が指定した口座に指定した日までに振り込むものとする。

12 全国大会パックツアー（今後検討していく予定）

事務局から、ホテル等の宿泊及びホテルと会場の送迎バスがセットになった全国大会パックツアーの斡旋を行う。選手及び引率教員は、交通機関の遅延等に包括的に対応するため、出来る限りパックツアーを利用すること。

13 そ の 他

- (1) マシンは各競技規則に基づき、指定された部品で製作されたものとする。
- (2) 大会運営規則、各競技規則が予告なく改訂されることがある。
- (3) 大会にエントリーした者は、本協会及び本実行委員会又はこれに認められた報道機関等が撮影した参加者及びマシンの写真及び映像について、各種メディアで使用することを許可し、その権利を主張しないものとする。
- (4) 大会にエントリーした者は、地区、所属校、学科、学年、氏名、カーネーム又はそれに準ずるものを公式データとして取り扱い、公表することを了承したものとする。



第24回高校生技術・アイデアコンテスト全国大会実施要項

- 1 目的 現代の工業技術の進展に伴い、これからは技術的課題を改善するだけでなく、身に付けた知識、技術及び技能を活用して、ものづくりができる創造的な能力と実践的な態度の育成が求められている。
本事業を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な態度を育てる。
 - 2 主催 公益社団法人 全国工業高等学校長協会
 - 3 後援 文部科学省、厚生労働省、経済産業省、特許庁（いずれも申請予定）
 - 4 募集期間 令和8年11月2日(月)～令和8年12月22日(火)
 - 5 応募資格 全工協会会員校の生徒(個人、グループのいずれでも可)
 - 6 発表 令和9年1月21日(木)
全工協会ホームページにて発表する。
 - 7 表彰 部活動部門、課題研究部門としてそれぞれに
(1) 最優秀賞(1点)、優秀賞(1点)、理事長特別賞(1点)…賞状を授与する。
(2) 佳作…賞状を授与する。
(3) 賞状は後日発送する。
 - 8 特典 入賞作品はジュニアマイスター(JM)顕彰制度の得点になる。
ただし、グループで入賞した場合は、応募時に参加者名簿に登録した5名以内が申請の対象になるものとし、後日の名簿変更は不可とする。
注:JM 顕彰への申請締切りが1月29日(金)となっています。申請を予定される学校は申請を忘れずにお願いいたします。
 - 9 応募方法 以下の2点を募集期間内に次のとおりに行う。
(1) ① 応募書類は協会ホームページよりダウンロードし、内容は3ページ以内に収めること。
② 作品を研究、製作するにあたり、先行事例や参考・引用するような文献があった場合は、先行事例名、参考文献、引用文献、出典を明らかにすること。(例:インターネット等からの引用の場合、HPアドレス等)
③ チェックシートを提出すること。**(チェック項目を確認し、1～7にレ点が入らなければ応募できません)**
④ グループで応募の場合は、応募時に参加者名簿に登録する。
(2) ① ファイル形式はMPEGとし、ファイルサイズは200MBまでとする。
② 時間は1分以内に収め、目的・原理・機能・動作・セールスポイントを必ず含めること。
③ ファイルの形式やサイズ、動画時間が指定外の場合は対象外とする。
- 応募方法の詳細については、**10月下旬**に本協会のホームページに掲載します。ご確認いただき、応募期間中に応募してください。なお、**Google アカウント**が必要になりますので、ご承知おきください。
- 10 審査 (1) 外部審査員を含む審査委員会による。
(2) 従来にない新しいアイデアが盛り込まれているもの。(商品化、特許認定等がなされていない)
(3) 工業製品を原則とする。(理論、方法など実体の無いものは不可)
(4) 工業製品の部品でもよい。(例 自動車のバックミラー、ドアの鍵など)
(5) 試作品が完成していること。
(6) 作品について
①過去1年以内に開発、製作したものを原則とする。
②過去1年以内に発表したものを原則とする。
 - 11 その他 (1) 入賞者への賞状の記名は複数の場合、グループ名又は代表生徒5名までとする。
(2) 募集期間後の応募書類、参加者の変更はできないので留意すること。
(3) 応募の際に知り得た個人情報、本大会に関わる事以外には使用しない。
 - 12 応募及び問合せ先 公益社団法人 全国工業高等学校長協会
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-8-1 TEL 03-3261-1500 FAX 03-3261-2635

令和9年度(2027年度)全国工業高等学校長協会

第75回研究協議会 北海道大会 開催要項(案)

大会テーマ「 未 定 」

- 1 目的 全国の工業科設置高等学校の校長が一堂に会し、当面する高等学校における工業教育の諸問題について研究協議を行い、我が国高等学校の工業教育の改善及び振興を図る。
- 2 主催 公益社団法人全国工業高等学校長協会
- 3 後援 北海道(予定)
北海道教育委員会(予定)
北海道産業教育振興会(予定)
公益社団法人日本教育公務員弘済会北海道支部(予定)
北海道の工業教育を推進する会(予定)
一般財団法人札幌工振興会(予定)
- 4 主管 北海道工業高等学校長会(北海道高等学校長協会工業部会)
- 5 期日 令和9年(2027年)10月21日(木)～22日(金)
- 6 会場 ホテルライフオー・札幌 2階「 未定 」
〒064-0810 北海道札幌市中央区南10条西1丁目1-30
電話 011-521-5211(代表)
- 7 参加料等 参加費 6,000円 資料費 2,000円
(予定) 教育懇談会費 9,000円 昼食費 1,500円

8 日程

時間 月日	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
10/21 (木)	受付	理事会		受付	開会行事 文科省講話等		研究協議 (その1)			教育懇談会		
10/22 (金)	受付	講演	研究協議 (その2)	昼食	研究協議 (その3)	閉会行						

9 次 第

[第 1 日 令和 9 年(2026年)10月21日 (木)]

I 開会行事 13:00～13:50

- 1 開会の辞
- 2 国歌斉唱
- 3 理事長挨拶
- 4 大会会長挨拶
- 5 来賓祝辞
- 6 来賓紹介
- 7 祝電披露
- 8 閉会の辞

II 文部科学省講話等 14:00～14:50

III 研究協議 (その 1) 15:00～17:00

- 1 調査研究部報告
- 2 本協会事業の取組・意見交換

[第 2 日 令和 9 年(2026年)10月22日 (金)]

IV 講演 9:00～10:30

演題 「 未定 」

講師 (未定)

V 研究協議 (その 2) 10:50～11:50

地区提案協議 I

※ 前年度、当該年度、次年度開催地区を除く 6 地区から発表

VI 研究協議 (その 3) 13:00～14:00

地区提案協議 II

質疑応答

VII 閉会行事 14:30～15:00

- 1 開会の辞
- 2 理事長挨拶
- 3 大会会長挨拶並びに次年度開催地区の指名
- 4 次年度開催地区代表挨拶 (中国地区)
- 5 閉会の辞

10 教育懇談会

日時 令和 9 年(2026年)10月21日 (木) 18:00～20:00 (予定)

場所 ホテルライフオート札幌 2階「 未定 」

〒064-0810 北海道札幌市中央区南10条西1丁目1-30

電話 011-521-5211(代表)

会費 9,000円 (予定)

11 大会事務局 全工協会第75回研究協議会北海道大会事務局

実行委員長 北海道札幌工業高等学校 校長 諸橋 宏明

(moro@hokkaido-c.ed.jp)

事務局 長 北海道札幌工業高等学校 副校長 佐藤 靖敏

(y_sato@hokkaido-c.ed.jp)

〒060-0820 札幌市北区北20条西13丁目 電話 011-231-4111

第 36 回全国産業教育フェア佐賀大会



さいふフェア SAGA 2026

「第 34 回全国高等学校ロボット競技大会佐賀大会」

募集要項

1 趣 旨

全国の専門高校等で学ぶ生徒が、ロボット競技大会への参加を目指し、仲間と協力しながら自由な発想で工夫を凝らし、創造力を発揮してロボットを製作する。また、その取組の過程をととして、ものづくりの技術・技能を習得し、次世代を担う技術者としての資質を向上させる。

2 出場資格

工業に関する学科に在籍する高校生で構成されたチームとする。ただし、その他の学科からの参加申込みがあれば別途検討する。なお、チームは学校単位で構成し、1 チーム 5 名以内、同一校からの出場は 2 チーム以内とする。

3 日 程

令和 8 年 10 月 24 日(土) 8:15～16:45 受付、招集、公式練習、開会式、競技者会議
令和 8 年 10 月 25 日(日) 8:50～16:00 招集、競技、競技者交流会、閉会式

4 会 場

SAGAサンライズパーク SAGAプラザ 大競技場
〒849-0923 佐賀市日の出 1 丁目 21-15 TEL 0952-32-2131

5 競技内容

「第 34 回全国高等学校ロボット競技大会佐賀大会実施規則」による。(別紙)

6 ロボットの輸送、搬入及び搬出

- (1) これらについては、大会HPに掲載する。
- (2) 業者等に委託して輸送する場合は、ロボットを梱包すること。
- (3) 搬入するロボットは、原則として梱包のまま保管できるものとする。
- (4) 競技大会終了後のロボットの梱包及び搬出は出場チームが行うこと。
- (5) プラカードは出場チームが準備すること。なお寸法については大会HPに掲載する。

7 交通費、宿泊費及び輸送費等

- (1) 競技に係る生徒及び引率者の交通費、宿泊費は、出場チームの負担とする。
なお、宿泊希望者については、大会HPに掲載する「宿泊要項」により宿泊先を斡旋する。
- (2) ロボットの製作費及び輸送費等は、出場チームの負担とする。
- (3) 競技用に係る消耗品等の費用は、出場チームの負担とする。

8 申込方法

- (1) 各都道府県教育委員会・政令指定都市教育委員会は本要項に基づき、それぞれの入力フォームにアクセスし、必要事項を記入して申し込む。申込書(様式6-1、様式6-2)は大会HPからダウンロードし各入力フォームに添付すること。

ア 仮申込みは、令和 8 年 6 月 1 日(月)から 6 月 5 日(金)の期間中に、下記の入力フォームにアクセスし必要事項を記入の上、様式 6-1 を添付すること。

<仮申込受付フォーム>



<https://logoform.jp/form/jbBd/1434995>

イ 本申込みは、令和 8 年 8 月 31 日(月)から 9 月 4 日(金)の期間中に、下記の入力フォームにアクセスし必要事項を記入の上、様式 6-2 により一括して申し込むこと。

<本申込受付フォーム>



<https://logoform.jp/form/jbBd/1438951>

ウ 仮申込チーム数が 96 チームを超えた場合、各都道府県の本申込みを制限する。その場合、本申込みの期間前に、調整後の申込台数を関係各教育委員会宛に連絡する。

(2) 提出書類の作成に当たっては、参加生徒の氏名、肖像等の個人情報を大会要項等に掲載し公開することがあるので、本人の了解を得ること。

(3) 問合せ担当校

学 校 名	所 在 地	校 長 担 当 者
佐賀県立 佐賀工業高等学校	〒840-0841 佐賀県佐賀市緑小路 1 番 1 号 TEL 0952-24-4356 FAX 0952-25-7043 E-mail:saga2026robot@education.saga.jp	校 長 岩本 憲政 担当者 尊田 泰信

9 問合せ方法

問合せは、下記入力フォームにより行う。回答は後日Q&Aとして大会HPで公開する。

<問合わせフォーム>



<https://forms.office.com/r/BskH2kTGhR>

10 実行委員会事務局

第 36 回全国産業教育フェア佐賀大会実行委員会事務局本部
(佐賀県教育委員会事務局学校教育課内)
〒840-8570 佐賀市城内一丁目 1 番 59 号
TEL 0952-25-7228 FAX 0952-25-7286
大会HP <https://sanfair-saga2026.jp/>

さんフェアえひめ2027



えがお
愛顔で夢をカタチに

く伊予の国から、未来を創る技の共演く

▼大会HP



見て、触れて、体験！ 産業教育の魅力がここに集結！

第37回全国産業教育フェア愛媛大会

さんフェアえひめ2027

令和9年

10/16 土 10/17 日

会場

愛媛県県民文化会館
愛媛県身体障がい者福祉センター
愛媛県武道館
JAキッチンスタジオ（JAえひめ中央太陽市
隣「みなとまちまってる」2階）
聖カタリナ学園高等学校
ANAクラウンプラザホテル松山

主催 第37回全国産業教育フェア愛媛大会実行委員会、文部科学省、愛媛県、愛媛県教育委員会、松山市、
松山市教育委員会、公益財団法人産業教育振興中央会、全国産業教育振興会連絡協議会、愛媛県産業教育振興会

令和9年10月16日 土

令和9年10月17日 日

開催日程

		9	30	10	30	11	30	12	30	13	30	14	30	15	30	16	30	17			9	30	10	30	11	30	12	30	13	30	14	30	15	30	16
愛媛県民文化会館	メインホール	総合開会式																		全国高校生ビジネスアイデアコンクール		総合開会式													
	サブホール			ファッションショー (家庭部)	参加・交流イベント												参加・交流イベント																		
	第5・第7会議室	意見体験発表																																	
	第6会議室	作品・研究発表																																	
	第8会議室																																		
	展示コーナー	特別支援教育部コーナー (カフェ・マッサージ) 展示コーナー (作品展示、体験・実演)																																	
	県民プラザ																																		
	ロビー																																		
	真珠の間	展示コーナー (作品展示、体験・実演、展示販売)																																	
	県民広場																																		
愛媛県身体障がい者福祉センター体育館		全国高校生フラワーアレンジメントコンテスト																		全国高校生フラワーアレンジメントコンテスト【展示】															
愛媛県武道館		全国高等学校ロボット競技大会公式練習										ロボット競技大会開会式						全国高等学校ロボット競技大会																	
JAキッチンスタジオ JAえひめ中央太陽市隣 「みなとまちまってる」2F												全国高校生クッキングコンテスト【準備】						全国高校生クッキングコンテスト																	
聖カタリナ学園高等学校												全国高校生介護技術コンテスト【開会式・説明会】						全国高校生介護技術コンテスト																	
ANAクラウンプラザホテル												第69回全国産業教育振興大会																							

会場図



※スケジュールや会場に関しては、令和8年9月現在のものであり、今後変更になる場合もございます。予めご了承ください。

- ①②伊予鉄市内電車「南町」下車
- ③ＪＲ予讃線「市坪駅」下車
- ④「ＪＲ松山駅」下車
- 伊予鉄市内電車「大手町」下車
- ⑤伊予鉄市内電車「市駅前」下車
- ⑥伊予鉄市内電車「大街道」下車



V 海外研修の概要

第 26 回高校生海外研修実施報告概要 (タイ王国研修)

第 26 回高校生海外研修団長 須田 孝之
神奈川県立磯子工業高等学校長

1 はじめに

全国工業高等学校長協会が主催する「高校生海外研修」は、今年度で第 26 回を迎えた。研修先は台湾なども視野に入れ検討したが、昨年度に引き続き、親日国と知られ、安全性が高く日本との歴史的・経済的つながりも深いタイ王国にて実施した。タイ王国は、独自の伝統的文化や歴史的建造物が存在するだけでなく、数多くの日系企業が進出し、アジアにおけるものづくり・産業の拠点としての役割を果たしている。工業高校生が異文化に触れるとともに、最先端の技術や海外での産業振興を学ぶ海外研修先として教育的にも極めて有意義な地である。

今回の研修では、これまでの実施成果や反省点をふまえ、出発前および現地での指導体制に新たなアプローチを取り入れた。出発前に「研修目標の明確化」と「タイ王国の事前調査」および「国内事前研修」を徹底して実施した結果、生徒一人ひとりの研修に臨む意識が飛躍的に高まり、出国前から研修団としてのチーム全体の結束も強固なものとなった。各研修先では生徒から積極的な質問が相次ぎ、例年以上に実り多い海外研修となった。

2 第 26 回高校生海外研修実施要項

(1) 研修期間 (8 日間)

令和 8 年 7 月 18 日(土) ～7 月 25 日(土)

(2) 研修地

○日本国内

(株) ロクイチ HICity RACING
(プロバイクレースチーム)

○バンコク市内

ワット・アルン(暁の寺)、ワットポー、王宮 (外観)、ワット・プラケオ (エメラルド寺院)、ワット・パクナム、アイコン アイサム、国立博物館、FANUC Thailand Ltd.、泰日工業大学 Thai-Nichi Institute of Technology、安川電機タイランド、メークローン線路市場、ダムヌンサドゥアク水上市場、マハナ コン スカイウォーク

○アユタヤ市内

日本人町跡、ワット・マハタート・ワット・プラシーサンペット

(3) 宿泊地

○国内 東横イン羽田空港 2 (1 泊)

○バンコク市内

Jasmine Grande Residence (5 泊)

○機内 (1 泊)

(4) 参加費および補助

5 万円、自宅から羽田空港までの交通費、パスポート申請料、燃油サーチャージ、空港使用料、空港税、海外保険等は個人負担 (但し、航空運賃、宿泊費、食事等の経費は全工協会が負担)

3 研修参加者の構成

参加生徒は 22 名、3 年 (男子 6 名、女子 4 名)、2 年 (男子 8 名、女子 4 名)、引率教員は、国際化事業推進委員長 須田孝之 (神奈川県立磯子工業高等学校校長)、釘持幸来 (神奈川県立磯子工業高等学校実習助手)、湯澤修一 (全国工業高等学校長協会事務局長) の 3 名が同行した。

4 以前の研修との主な違い・改善点

【本年度研修の 3 つの特徴】

- ① 出発前の研修目標の明確化：事前指導において、生徒各自が「何を学び、持ち帰るか」という研修目標を明確に設定させてから参加させたため、研修全体に対する学習意欲と意識が格段に高まった。
- ② 出国前の国内事前研修の強化：結団式及び出国前の国内研修プログラムを実施

したことで、出発時点で生徒間の団結力とグループワークの意識が向上した。

- ③主体的な研修・積極的な質疑応答：訪問研修先（企業・大学）のすべてにおいて、生徒から主体的かつ深い質問が活発に飛び交い、現地関係者からも高く評価される非常に有意義な研修となった。

5 活動内容

【1日目】7月18日(土)

結団式・国内事前研修

日本工学院専門学校蒲田キャンパスにて結団式を執り行った。全国から選抜された生徒たち22人が顔を合わせ、全工協会理事長挨拶、団長挨拶、生徒代表宣誓を行った。その後、本年度の重点取組のひとつである「国内事前研修」を実施した。全日程や研修目標の再確認、諸注意に加え、(株)ロクイチHICityRACINGで視察研修を行うことで研修団のチームビルディングを行った。出国前に全員が目標を共有し、互いに打ち解けたことで、強固な団結力が形成された。終了後、空港近くのホテルへ移動し前泊した。



事前研修後の羽田空港付近

【2日目】7月19日(日)

出国手続きで若干のトラブルがあったものの、羽田空港より機内へ乗り込み、バンコクへ向けて出発した。夕刻にバンコク・スワンナプーム国際空港に無事到着。現地ガイドと合流し、専用バスにて夕食会場へと向かった。夕食時には結団式・事前研

修で深まった団結力もあり、和気藹々とした雰囲気の中で現地での最初の食事を楽しんだ。

【3日目】7月20日(月)

3日目はバンコク市内の代表的な寺院を巡り、歴史や建築について学んだ。

渡し舟で川を渡り、川沿いに立つワット・アルンを見学したほか、巨大な涅槃仏で有名なワット・ポー、そして天井画が美しいワット・パクナムを訪れた。特に王宮敷地内にあるワット・プラケオ（エメラルド寺院）では、翡翠の一塊から削り出された本尊のエメラルド仏や、色ガラスのモザイクと金箔で埋め尽くされた壮麗な本堂をじっくりと見学した。

各見学先では、タイの寺院に見られる3つの建築様式やその見分け方を現地ガイドから教わった。生徒たちは単に見物するだけでなく、工業高校生ならではの視点で、重層屋根の構造や外壁の装飾技術、施工の精密さなどに興味津々な様子で観察していた。夕食時には、美しい伝統衣装を着たダンサーによるタイの伝統舞踊を観覧し、生徒達も一緒にダンスを楽しんだ。



王宮

【4日目】7月21日(火)

午前中はFANUC Thailand Ltd. を訪問し、2班に分かれて会社概要説明、工場、マシニングセンタ、産業用ロボット、保守部品倉庫を見学した。

生徒たちは人と共に作業する協働ロボットに高い関心を寄せて熱心に見入っていたほ

か、全種類の保守部品が完全にストックされている管理体制に大変驚いていた。質疑応答では、当初緊張から口数が少なかったものの、次第に緊張が解け、フィジカルAIに関する専門的な疑問や、高校生ならではの率直で鋭い質問を投げかける姿が見られた。また、ご用意いただいた昼食のお弁当も大変美味しく、一同大満足だった。

午後はワット・サマーン・ラッタナーラームへ移動し、巨大なピンクガネーシャを見学した。現地ガイドからネズミの像を通した独特の参拝方法を教わり、生徒たちはそれぞれ思いを込めて願い事をしていった。



FANUC Thailand Ltd.

【5日目】7月22日(水)

午前中は泰日工業大学（TNI）を訪問した。TNIのオープニングセレモニーでは、生徒各自ができる限りの英語力で堂々とスピーチを披露した。その後の授業では「仮想マシン」について英語で学び、専門講義に圧倒されつつも、語学力に加え背景となる技術的知識の大切さを痛感した様子だった。

校内見学や交流セッション、美味しいタイ料理のランチを通じて学生と親交を深めた。現地で学ぶ日本人学生の参加もあり、海外留学を身近に感じる貴重な機会となった。

午後は国立博物館を訪れ、生徒たちはタイの歴史や時代ごとに異なる仏像の特徴を熱心に学んだ。特に館内に日本の仏像が多く展示されていたことには大変驚いていた。

研修も終盤を迎え、生徒たちからは「タイもあと2日だ」と名残を惜しむ声が聞かれ始めた。先端技術と異文化を肌で吸収し、大き

く視野を広げる一日となった。



泰日工業大学

【6日目】7月23日(木)

安川電機タイランドへの企業視察と、世界遺産アユタヤの歴史見学を実施した。

午前中は安川電機を訪問し、会社概要やロボットの基本説明を受けた後、実機見学とロボットのティーチングの実習を体験した。専門分野以外の生徒も自らの手でロボットを動かすことで技術を身近に感じ、ショールームでの溶接実演にも強い興味を示していた。社員の方々が同郷の生徒に気さくに声をかけてくださるなど、温かく迎えていただいた。また、用意された美味しい昼食やおやつに喜ぶ生徒たちの笑顔も印象的だった。FANUCに続き、各社の特色や強みの違いを肌で感じる貴重な学びとなった。



安川電機でロボットのティーチング

午後はアユタヤへ移動し、日本町跡、ワット・マハタート、ワット・プラシーサンペットを見学した。生徒たちは教科書などで見た風景に歓声を上げつつ、日本とタイの歴史的な深いつながりやアユタヤ繁栄の背景を学んだ。これまでの見学の成果もあり、時代背景による仏像の表情の違いをしっかりと捉えて

いた。

初めてスクールにも見舞われたが、南国ならではの貴重な体験となり、学びの多い一日となった。



アユタヤ ワット・マハタート

【7日目】7月24日(金)

現地最終日は、タイの庶民の日常と近代的な大都市の景観を体感する研修を実施した。

電車の到着時刻に合わせ、朝7時に宿を出発してメークローン線路市場へと向かった。活気ある市場の雰囲気を通じてタイの庶民的な暮らしに直接触れるとともに、列車通過に合わせて店主たちが一斉に商品や日よけを片付ける、テレビ等でおなじみの光景を間近で見学することができた。その後、ダムヌンサドゥアク水上市場を訪れ、買い物を楽しんだ。

午後はマハナコン・スカイウォークを訪れた。午前中の下町情緒とは打って変わり、タイで一番高い近代的な超高層ビルの屋上を体験した。足元に広がる大パノラマに圧倒されながら、生徒たちはバンコク全体を一望する素晴らしい景色を堪能した。

本日の研修を通じて、タイの歴史的な側面、近代的な側面、そして庶民的な側面の多様さを実感するとともに、現地の人々の温かさや優しさに触れることができた。

その後、名残を惜しみつつ空港へ移動し、深夜便にて帰国の途に就いた。

【8日目】7月25日(土)

タイ・バンコクを出発した復路の航空便は、発生していた台風の影響によりフィリピン方面へと大きく迂回するルートをとった。

飛行中は多少の揺れを感じる場面もあり、予定よりやや遅れて朝6時30分頃に無事羽田空港へ到着した。

到着後は、生徒各自の地元へ戻るための国内線乗り継ぎ便や新幹線の出発時刻の関係を考慮し、空港内にて簡単に解散式を行った。

全国各地から選抜されて集まり、濃密な研修期間を共に過ごした仲間たちだけに、「次にいつ再会できるかわからない」とお互いに別れを惜しんでいる姿が大変印象的だった。長旅とフライトの後にもかかわらず、生徒たちにはあまり疲れた様子は見られなかった。全員が充実感と達成感に満ちた晴れやかな表情でそれぞれの帰路に就いた。

6 おわりに

全日程を通じて大きな事故や体調不良を訴える生徒が一人も出ず、無事に全行程を終了できたことを何より嬉しく思う。

今年度からの新たな取り組みとして、出発前に生徒各自が研修目標を設定した。この事前指導が功を奏し、企業視察や大学での積極的な質問はもちろん、現地の方々や仲間へ自ら進んで声をかけるなど、極めて主体的な研修態度へとつながった。

全国から選抜された生徒たちだけに規律やマナーの意識が非常に高く、飛行機に乗るのが初めてという生徒が数名いたものの、行動面での不安は一切なく、終始安心して引率することができた。何より嬉しかったのは、これまで将来に「海外」という選択肢を持っていなかった生徒から、「留学も視野に入れて考えてみたい」という前向きな声が聞かれたことだ。また、街中や研修先で出会ったタイの人々は非常に温かく親切で、その優しさに触れたことも生徒たちの心を大きく開ききっかけとなったと思う。

多感な高校生という時期に、タイの地で異文化や人々の優しさに触れ、仲間と多様な経験を重ねたことは、彼らの人生において極めて有意義でかけがえのない財産になると確信している。

令和 8 年 7 月 2 日

令和 8 年度 第 15 回全国工業教育指導者養成講習会実施要項

- 1 主 催 者 公益社団法人 全国工業高等学校長協会(以下、全工協会という)
- 2 目 的 現状を改革し、将来の工業教育を創造できる指導者を育成する。
- 3 内 容 講義、グループ討議、実地見学等を通して工業教育に関しての内容を研修する。
- 4 後 援 公益財団法人 産業教育振興中央会
- 5 期 間 令和 8 年 7 月 26 日(日)～8 月 1 日(土)の 7 日間
- 6 日 程 研修日程(原則以下のとおり)
 - (1)① 9:00 ～ 10:30 (休憩 10:30～ 11:00)
 - ② 11:00 ～ 12:30 (休憩 12:30～ 13:30)
 - ③ 13:30 ～ 15:00 (休憩 15:00～ 15:30)
 - ④ 15:30 ～ 17:00 (質疑 17:00～ 17:30)
 - (2) 実地見学 千葉県担当
 - (3) 講師については社会の動向等により変更することもある。
- 7 対 象 者 以下の資質等を備えた各地区工業高等学校長会から推薦された者(参加者の資質等)
 - (1) 全工協会の会員校の教諭で、原則として 32 歳以上で 6 年以上の教職経験を有し 40 代半ばまでの者
 - (2) 工業教育に熱心で、講習会の研修すべてに参加できる気力と体力を有する者
 - (3) 工業系に属し、工業教育を牽引できる指導者としてふさわしい者
- 8 参加人数 全国 9 地区代表 24 名
- 9 会 場 工業教育会館
- 10 費 用 所属校からの交通費、宿泊費、研修費は全工協会が負担。食事代は自己負担
- 11 宿泊場所 京王プレッソイン東京九段下(食事なし) TEL 03-3511-0202
会場まで通うことが可能な場合、宿泊の必要なし(受講中の交通費は全工協会が負担)
- 12 研修報告 受講者は研修後、報告書を速やかに作成し、都道府県工業校長会に提出するとともに、各都道府県等にて必ず報告会を実施すること。
- 13 参加締切 各地区から推薦を受けた受講者は、所属校長の承諾を受けた後、令和 8 年 5 月 15 日(金)必着で全工協会へ、受講申込書(別紙様式：別添)を提出すること。
- 14 そ の 他 受講者は、事前提出課題レポート(別紙)を 7 月 1 日(水)までに E-mail にて提出すること。

送付先：inaba@zenkoukyo.or.jp

- 15 受講申込書提出先・問合せ先

〒102-0072

東京都千代田区飯田橋 2-8-1 公益社団法人全国工業高等学校長協会 附属工業教育研究所

Tel 03-3261-1500 Fax 03-3261-2635

稲葉 保

研修日程（細部は予告なく変更になる場合があります）

1 日目 7 月 26 日（日）	16:00 集合 17:00～	集合時間厳守 飯田橋・工業教育会館（場所：2 階ホール）受付、説明等 京王プレッソイン東京九段下（宿泊場所）移動
---------------------	--------------------	---

2 日目 7 月 27 日（月）	9:00～9:20	開講式（理事長挨拶）と（来賓・産振中央会専務理事挨拶） 受講生代表挨拶
	9:20～9:30	会場準備
	9:30～10:30 (60 分)	<講話①>「工業教育を担う皆さんへ ～工業教育と歩んだ 40 年を振り返って～」 全工協会 東 秀行 理事長
	10:30～10:45	質疑応答・お礼の言葉（10 分）<休憩>（5 分）
	10:45～12:05 (80 分)	<講話②>「工業教育の推進に向けて」 国立教育政策研究所 教育課程研究センター 研究開発部 教育課程調査官 （文部科学省初等中等教育局参事官（高等学校担当）付産業教育振興室教科調査官） 内藤 敬 氏
	12:05～12:15	質疑応答・お礼の言葉（10 分）
	12:15～13:30	教育懇談会① 昼食・休憩
	13:30～15:30 (120 分)	<講義①>「人間関係づくり・高校生のコミュニケーション」 学校法人弘徳学園豊岡短期大学副学長・こども学科教授 原田 敬文 氏
	15:30～15:50	質疑応答・お礼の言葉（10 分）<休憩>（10 分）
	15:50～16:50 (60 分)	<討議・演習①>（事前課題について） 担当 実行委員会の校長先生方
	16:50～	諸連絡

3 日目 7 月 28 日（火）	9:00～10:30 (90 分)	<講義②>「ダイバーシティとリーダーシップ」 (株)博報堂 テーマビジネスデザイン局ビジネスプロデューサー 野口 真理子 氏
	10:30～10:50	質疑応答・お礼の言葉（10 分）<休憩>（10 分）
	10:50～12:20 (90 分)	<講義③>「人材育成における「失敗」の見守り方」 東陽電気工事株式会社 代表取締役 石川 格子 氏
	12:20～12:30	質疑応答・お礼の言葉（10 分）
	12:30～13:30	<昼食・休憩>（60 分）
	13:30～16:30 (180 分)	<講義④>「学校組織マネジメントの理論と実践」 国士舘大学 名誉教授 北神 正行 氏
	16:30～16:40	質疑応答・お礼の言葉（10 分）
	16:40～	諸連絡

4 日目 7 月 29 日 (水)	7:50	7:50 工業教育会館集合、8:00 出発（貸切バス利用）
	9:00～11:15	＜実地見学①＞（講演・見学Ⅰ）概要 （１）講演「半導体が支える未来社会と人材育成」 教授 菅 洋志 氏 （２）千葉工大学 概要説明・見学
	11:15～11:20	質疑応答・お礼の言葉（５分）
	11:20～13:55	＜移動・昼食・休憩＞ 昼食：三井アウトレットパーク
	13:55～16:30	＜実地見学②＞（見学Ⅱ）概要 （３）アクアライン事業所見学 概要説明・見学 質疑応答・お礼の言葉（５分） 終了後、「海ほたる」自由見学
	17:30	工業教育会館 解散
5 日目 7 月 30 日 (木)	9:00～12:00 (180 分)	＜講義⑤＞「学校教育の転換期ーこれからの時代に求められる資質・能力ー」 横浜国立大学 名誉教授 高木 展郎 氏
	12:00～12:10	質疑応答・お礼の言葉（１０分）
	12:10～13:10	事務連絡等 ＜昼食・休憩＞（60 分）
	13:10～14:10 (60 分)	＜講義⑥＞「工業高校における知財学習導入事例とその展望」 独立行政法人工業所有権情報・研修館 知財人材部 部長代理 蓮池 睦人 氏
	14:10～14:25	質疑応答・お礼の言葉（１０分）＜休憩＞（５分）
	14:25～15:25 (60 分)	＜講義⑦＞「東京都の工業教育（教務手帳の電子化）」 東京都立北豊島工科高等学校 主幹教諭 福田 健昌 氏
	15:25～15:45	質疑応答・お礼の言葉（１０分）＜休憩＞（１０分）
	15:45～16:50	＜討議・演習②＞（工業教育の現状と課題） 課題は当日発表 担当 実行委員会の校長先生方
	16:50～17:00	受講生から感想・お礼の言葉
	17:00～	諸連絡
6 日目 7 月 31 日 (金)	9:00～11:00 (120 分)	＜講義⑧＞「高等学校をめぐる法律と政策」 放送大学学園 理事長 高橋 道和 氏
	11:00～11:20	質疑応答・お礼の言葉（１０分）、＜休憩＞（１０分）
	11:20～11:50	＜講義⑨＞「人工筋肉型関節サポータの研究と特許申請について」 千葉県立京葉工業高等学校 実習助手 森下 広幸 氏
	11:50～12:00	質疑応答・お礼の言葉（１０分）
	12:00～13:00	＜昼食・休憩＞（60 分）
	13:00～16:40	＜討議・演習③＞ サブテーマの検討、まとめと発表 担当 実行委員会の校長先生方（途中休憩 15 分）
	16:40～16:50	感想の言葉・お礼の言葉（１０分）
	17:30～19:30	教育懇談会② 本格イタリアン「トリノ」

7 日目 8 月 1 日（土）	9:00～11:00 (120 分)	＜講義⑩＞「探究を実現する P B L と P B L に適した評価方法」 金沢工業大学 扇が丘キャンパス 基礎教育部 教職課程 教授 木村 竜也 氏
	11:00～11:30	質疑応答・お礼の言葉（10 分）、＜休憩＞（20 分）
	11:30～13:00	閉講式・写真撮影（終了後、解散） 理事長挨拶、来賓挨拶、受講修了証授与、受講生代表挨拶
	13:00～16:30	選択研修①（希望者のみ 東京都文化財めぐり、博物館見学等）

令和 8 年度夏季講習会実施報告書

2026/9/9

付属工業教育研究所

OL : オンライン

OD : オンデマンド

: 定員超過開講

: 中止 (開講)

: 定員未満開講

: 選考人数調整

講座 番号	整理 番号	講習会名	実 施 団 体	定員下限 赤: 団体希望	定員上限	応募者数 (確定値)	欠席者数	開講/中止
1	2	品質管理セミナー入門コース (2日間)	一般財団法人 日本規格協会	5	10	8		開講
2	4	初めてのプリント基板作成 (中部会場)	株式会社バイナス①	3	8	7	1	開講
3	4	初心者向けPLCチャレンジ! (中部会場)	株式会社バイナス②	3	10	16	1	開講
4	4	産業用ロボット特別教育 (教示) (中部会場)	株式会社バイナス③	3	10	6		開講
5	4	初めてのプリント基板作成 (九州会場)	株式会社バイナス④	3	8	2		中止
6	4	初心者向けPLCチャレンジ! (九州会場)	株式会社バイナス⑤	3	10	1		中止
7	4	産業用ロボット特別教育 (教示) (九州会場)	株式会社バイナス⑥	3	10	0		中止
8	4	初めてのプリント基板作成 (関東会場)	株式会社バイナス⑦	3	6	4		開講
9	4	初心者向けPLCチャレンジ! (関東会場)	株式会社バイナス⑧	3	10	10	1	開講
10	4	産業用ロボット特別教育 (教示) (関東会場)	株式会社バイナス⑨	3	10	10		開講
11	5	生徒に刺さるAI×プログラミング授業	日本工科大学校①	3	8	21		開講
12	5	基礎から学ぶ自動車の飯金塗装	日本工科大学校②	3	8	11		開講
13	5	いざ、二級建築士 製図模擬試験に挑戦!	日本工科大学校③	3	10	0		中止
14	7	MATRIX研修会 (名古屋会場)	株式会社アフレル①	3	10	4		開講
15	7	Dobot Magician E6研修会 (大阪会場)	株式会社アフレル②	3	7	4		開講
16	8	東京_SOLIDWORKS 超入門 + 企業講演	ダッソー・システムズ (株) SOLIDWORKS 事業①	3	20	30	1	開講
17	8	東京_SOLIDWORKS 入門・初級	ダッソー・システムズ (株) SOLIDWORKS 事業②	3	20	37		開講
18	8	東京_SOLIDWORKS 実践 + 認定試験の紹介	ダッソー・システムズ (株) SOLIDWORKS 事業③	3	20	29	1	開講
19	8	東京_SOLIDWORKS xDesign + AI の動向	ダッソー・システムズ (株) SOLIDWORKS 事業④	3	20	21		開講
20	8	四日市_SOLIDWORKS 超入門 + 企業講演	ダッソー・システムズ (株) SOLIDWORKS 事業⑤	3	20	2		中止
21	8	四日市_SOLIDWORKS 入門・初級	ダッソー・システムズ (株) SOLIDWORKS 事業⑥	3	20	1		中止
22	8	秋田_SOLIDWORKS 歯車講座 + 企業講演 + AIの動向	ダッソー・システムズ (株) SOLIDWORKS 事業⑦	3	20	13		開講
23	8	大阪_SOLIDWORKS 超入門 + 企業講演	ダッソー・システムズ (株) SOLIDWORKS 事業⑧	3	20	12	1	開講
24	8	大阪_SOLIDWORKS 入門・初級	ダッソー・システムズ (株) SOLIDWORKS 事業⑨	3	20	14	1	開講
25	8	大阪_SOLIDWORKS 実践 + カタツムリ活用方法	ダッソー・システムズ (株) SOLIDWORKS 事業⑩	3	20	11	1	開講
26	8	大阪_SOLIDWORKS xDesign + AI の動向	ダッソー・システムズ (株) SOLIDWORKS 事業⑪	3	10	3		開講
27	8	佐世保_SOLIDWORKS 超入門 + 企業講演	ダッソー・システムズ (株) SOLIDWORKS 事業⑫	3	20	6	1	開講
28	8	佐世保_SOLIDWORKS 入門・初級	ダッソー・システムズ (株) SOLIDWORKS 事業⑬	3	20	5	1	開講
29	8	米子_SOLIDWORKS 超入門 + 企業講演	ダッソー・システムズ (株) SOLIDWORKS 事業⑭	3	20	3		開講
30	8	米子_SOLIDWORKS 入門・初級	ダッソー・システムズ (株) SOLIDWORKS 事業⑮	3	20	2		中止→開講
31	9	普通旋盤の入門コース	株式会社小松製作所 小山工場	4	8	8		開講
32	14	機械3DCAD Autodesk Fusion 基礎1 (入門)	オートデスク株式会社①	3	15	14	1	開講
33	14	機械3DCAD Autodesk Fusion 基礎2 (初級)	オートデスク株式会社②	3	15	15	1	開講
34	16	第二級陸上特殊無線技士養成課程 (東京)	公益財団法人 日本無線協会①	5	20	3		中止→開講
35	16	第二級陸上特殊無線技士養成課程 (大阪)	公益財団法人 日本無線協会②	5	20	3		中止→開講
36	17	メカトロニクス基礎 講習会	フエスト株式会社①	3	5	4		開講
37	17	溶接ARシミュレーション 講習会	フエスト株式会社②	3	10	4		開講
38	17	溶接ARシミュレーション 講習会	フエスト株式会社③	3	10	4		開講
39	17	スマートファクトリー基礎 講習会	フエスト株式会社④	3	10	4		開講
40	18	第1種・第2種電気工事士講習会	東京工学院専門学校	3	10	3		開講
41	19	パナソニックで学ぶドラフター製図	武藤工業株式会社①	4	10	3		中止
42	19	クボタで学ぶドラフター製図	武藤工業株式会社②	4	10	7		開講
43	21	はじめてのオフラインティーチングと協働ロボット体験	ジェービーエムエンジニアリング株式会社①	3	4	4	1	開講
44	21	高度な3Dモデリングと各種3Dプリンター体験	ジェービーエムエンジニアリング株式会社②	4	5	3		中止→開講
45	23	SOLIDWORKS入門編	株式会社Kreed①	3	10	8		開講
46	23	SOLIDWORKS CSWA編	株式会社Kreed②	3	10	8		開講
47	23	SOLIDWORKS解析編	株式会社Kreed③	3	10	4		開講
48	23	SOLIDWORKS CAM編	株式会社Kreed④	3	10	3		開講
49	25	明日を担う次世代のための非破壊検査セミナー	明日を担う次世代のための非破壊検査セミナー委員会	3	40	1		中止
50	26	基板設計を「CADLUS」で実習	株式会社ニソール	3	10	3		開講
51	28	Revitによるモデリング基礎講習	浅野工学専門学校	3	8	3	1	開講
52	36	ドローン民間免許取得講座A	株式会社大塚商会①	3	10	10		選考-10
53	36	ドローン民間免許取得講座B	株式会社大塚商会②	3	10	10		選考-3
54	36	自走式AIロボット社会実装学習体験講座	株式会社大塚商会③	5	20	11		開講
55	36	ドローンプログラミング体験講座 (東京)	株式会社大塚商会④	5	30	15	1	開講
56	36	ドローンプログラミング体験講座 (大宮)	株式会社大塚商会⑤	5	25	7		開講
57	36	ドローンプログラミング体験講座 (名古屋)	株式会社大塚商会⑥	5	30	10		開講
58	36	ドローンプログラミング体験講座 (大阪)	株式会社大塚商会⑦	5	30	22	1	開講
59	36	デジタルものづくり: デジタルのプロダクトデザイン	株式会社大塚商会⑧	3	20	15		開講
60	36	デジタルものづくり: 描いたものが立体になる基礎原理を学ぶ	株式会社大塚商会⑨	3	20	15		開講
61	37	Pythonプログラミングとデータ解析	中央情報専門学校①	3	20	7		開講
62	37	Pythonによる2次元・3次元グラフィックス	中央情報専門学校②	3	20	6		開講
63	37	Raspberry Piによる電子ペーパーの表示制御	中央情報専門学校③	3	16	8		開講

OL :オンライン
OD :オンデマンド

: 定員超過開講 : 中止 (閉講)
: 定員未滿開講 : 選考人数調整

講座 番号	整理 番号	講習会名	実 施 団 体	定員下限 赤:団体希望	定員上限	応募者数 (確定値)	欠席者数	開講/中止
64	39	JMCR2027講習会 (Arduino編)	株式会社日立ドキュメントソリューションズ①	3	24	1		中止→開講
65	39	JMCR2027講習会 (Advanced編)	株式会社日立ドキュメントソリューションズ②	3	20	19		開講
66	39	JMCR2027講習会 (Basic応用編)	株式会社日立ドキュメントソリューションズ③	3	24	22		開講
67	39	JMCR2027講習会 (Camera編)	株式会社日立ドキュメントソリューションズ④	3	24	19		開講
68	40	作業現場から学ぶ『危険体験教育 (電気) 』【東京会場】	株式会社昭和電業社①	3	16	6		開講
69	40	作業現場から学ぶ『危険体験教育 (電気) 』【大阪会場】	株式会社昭和電業社②	3	16	2		中止
70	43	無料プログラミングソフトウェアVEXcodeVR授業実践 (東京)	5 Company株式会社①	3	10	5		開講
71	43	ロボット部活動導入の実務講習 (予算・購入・年間運営)	5 Company株式会社②	1	5	1		開講
72	43	無料プログラミングソフトウェアVEXcodeVR授業実践 (大阪)	5 Company株式会社③	3	10	7		開講
73	47	国家技能検定3級受検のすすめと対策	＜JTEX＞職業訓練法人日本技能教育開発センター	5	20	8		開講
OL 74	48	初心者でも簡単、Arduino用自作基板の設計	アールエスコポーネンツ株式会社①	3	30	16	2	開講
OL 75	48	3Dプリンタ活用に！ 初心者でも簡単3D CAD	アールエスコポーネンツ株式会社②	3	30	9		開講
OL 76	48	電流の動きが分かる 回路シミュレータ入門	アールエスコポーネンツ株式会社③	5	30	17		開講
77	50	安川電機ロボットシミュレータ講習会	ロボット革命・産業IoTイニシアティブ協議会①	3	10	3		開講
78	50	産業用ロボットの歴史・基礎知識と操作体験	ロボット革命・産業IoTイニシアティブ協議会②	3	8	3		開講
79	50	産業用ロボットとFA技術を融合した実践研修	ロボット革命・産業IoTイニシアティブ協議会③	3	8	4		開講
80	53	ジェットエンジンの整備工場見学	日本航空大学校北海道①	3	12	4		開講
81	53	福岡空港 航空機整備・グランドハンドリング見学	日本航空大学校北海道②	3	20	3		開講
82	53	航空機製造と整備工場見学	日本航空大学校北海道③	3	20	11		開講
83	53	JALの新千歳空港業務見学	日本航空大学校北海道④	3	15	17		開講
84	53	羽田空港 航空機整備・グランドハンドリング見学	日本航空大学校北海道⑤	3	20	12		開講
85	53	航空エンジンの整備工場見学・体験	日本航空大学校北海道⑥	3	10	10		開講
86	54	空の安全を支える仕事「地上支援業務」体験	東日本航空専門学校	3	20	7		開講
87	55	空の安全を支える航空整備士の世界を体験	千葉職業能力開発短期大学校成田校	3	10	4		開講
88	56	航空専門学校ってどんな学校？	成田国際航空専門学校	5	15	2		中止
89	57	エアライン (ANA) の訓練の現場を学ぶ	国際航空専門学校①	3	10	8		開講
90	57	航空専門学校での教育手法について学ぶ	国際航空専門学校②	3	10	3		開講
91	58	航空機の安全運航を支える地元企業の取組	中日本航空専門学校①	3	10	4		開講
92	58	地元を守るドクターヘリの整備&空港見学	中日本航空専門学校②	3	10	1		中止→開講
93	58	地元の空の安全を守る 鹿児島空港での仕事	中日本航空専門学校③	3	10	2		中止→開講
94	58	未来を考える最先端の航空機と製造の安全性について	中日本航空専門学校④	3	10	2		中止→開講
95	58	航空人財を育成する中日本航空専門学校の取り組み	中日本航空専門学校⑤	3	10	1		中止→開講
96	58	エアラインを支える航空業界の「安全業務」	中日本航空専門学校⑥	3	10	4		開講
97	59	東京ヘリポート ヘリコプター整備の見学	日本航空大学校 石川①	3	20	3		開講
98	59	航空機の定時運航を陰で支えるインフラを知る	日本航空大学校 石川②	3	10	4		開講
99	59	八尾空港 小型航空機整備の見学	日本航空大学校 石川③	3	20	3		開講
100	59	調布飛行場 小型航空機整備の見学	日本航空大学校 石川④	3	20	7		開講
101	60	グランドハンドリングという空の仕事の魅力	大阪航空専門学校③	3	10	2		中止→開講
102	60	神戸空港で航空業界の魅力を知らう	大阪航空専門学校①	3	10	4		開講
103	60	JAL航空機の安全を支える整備士の魅力	大阪航空専門学校②	3	10	2		中止→開講
104	64	楽しく教える溶接のツボ講座 (大阪)	一般社団法人 日本溶接協会①	3	20	13		開講
105	64	楽しく教える溶接のツボ講座 (佐賀)	一般社団法人 日本溶接協会②	3	15	14	1	開講
106	65	電気工事における技能とRX・DXについて	株式会社関電工	3	20	5		開講
107	67	UVプリンターによるオリジナル加飾体験	ローランド ディー・ジー 株式会社	3	6	8		開講
108	71	実社会の課題を解決する工学 (エンジニアリング) を学ぶ	学校法人廣池学園 麗澤大学	3	20	6		開講
OL 109	75	バッテリーから始まる、次世代産業	近畿経済産業局 (関西蓄電池人材育成等コンソーシアム事務局)	10	100	16		開講
110	77	防災時の建物の緊急点検手法を学ぶ	ものづくり大学	3	20	4		開講
111	78	ロボットSI検定新3級試験 指導講習 (小倉会場)	一般社団法人 日本ロボットシステムインテグレート協会①	3	20	2		中止
112	78	ロボットSI検定新3級試験 指導講習 (大阪会場)	一般社団法人 日本ロボットシステムインテグレート協会②	3	20	6		開講
113	78	ロボットSI検定新3級試験 指導講習 (愛知会場)	一般社団法人 日本ロボットシステムインテグレート協会③	3	20	4		開講
114	78	ロボットSI検定新3級試験 指導講習 (東京会場)	一般社団法人 日本ロボットシステムインテグレート協会④	3	20	8		開講
OL 115	79	生徒の心をつかむ授業ネタ提供～新・建設産業界キャリア教育～	㈱キャリアナビゲーション	5	30	4		中止
116	80	ブロックを活用したSTEAM教材開発	神奈川工科大学	1	8	7		開講
OD 117	82	第二級陸上特殊無線技士eラーニング養成課程	一般財団法人 情報通信振興会①	3	100	13	2	開講
OD 118	82	第三級陸上特殊無線技士eラーニング養成課程	一般財団法人 情報通信振興会②	3	100	6	1	開講
119	83	産業用ロボットの知識と操作習得	ファナック株式会社	5	10	10		選考-2
120	84	最新レーザ加工機講習会～実技を中心に学ぶ～	株式会社アマダ	2	8	9		開講

	令和6年度	令和7年度	令和8年度(欠席者)
応募者数	1039	965	935 (22)
開講予定講座数	125	122	120
開講講座数	117	109	108
中止講座数	8	13	12
受講者数(応募者数－中止講座応募者数－欠席者数)	1007	950	893

【備考】

- ・主な欠席理由：体調不良、公務都合、私用都合、無断欠席、重複申請キャンセル等
- ・運営上の懸案事項（今年度、開催要項およびWeb受付の案内の見直しを図った結果、問合せ件数は大幅に低減した）
 - ①Webシステム申請において、締切期日迄に校長承認がされない（今年度9件、R7年度18件、R6年度13件）：スケジュール上、確認は全て事務局による電話対応
 - ②応募申請締切後に参加希望教員から開催団体または全工協会へ直接参加希望の電話依頼が入る
 - ③開催団体から、参加教員の事前連絡なしの無断欠席・遅刻および服装について苦言があった。
 - ④管理職の許可なく受講者本人から全工協会へ参加講習会に関する問合せ電話をしてくる（開催要項をよく読んでいない案件）
 - ⑤No. 117, 118の欠席者はオンデマンド講習会のため規定修了試験「未修了」による欠席

三 報 告 三

令和 8 年度ジュニアマイスター前期申請の状況と結果

公益社団法人全国工業高等学校長協会
事務局長 湯澤 修一

1 前期申請の状況

令和 8 年度は、ジュニアマイスターのポイント対象となる検定・大会等は全て実施されています。

若年者ものづくり競技大会・技能検定の前期試験は実施済みです。ものづくりコンテスト全国大会・ロボット相撲全国大会・ジャパンマイコンカーラリー全国大会は、実施する予定です。また、協会主催の計算技術検定・情報技術検定・機械製図検定・基礎製図検定・パソコン利用技術検定・初級 CAD 検定・リスニング英語検定・グラフィックデザイン検定・高等学校工業基礎学力テストは、例年どおりの日程で、実施（予定）しました。そして、令和 7 年 8 月 6 日（木）にジュニアマイスター顕彰制度委員会を開催し、その結果を 8 月 7 日（金）の認定委員会に提案、審査した結果、認定者が確定しました。

今年度のジュニアマイスター前期申請の認定者数は、ゴールドは 845 名（前年比-157）、シルバー 1,325（前年比-106）、ブロンズ 1,555 名（前年比-472）、合計 3,725 名（前年比-735）となり、前年度より約 16.5%減少しました。

2 都道府県別の前期申請

認定委員会で報告された都道府県別の申請者数並びに認定者数を表 1 に示します。都道府県別では、愛知県、福岡県、長崎県、熊本県が群を抜いています。ジュニアマイスターが工業系高校生の資質・能力の評価として定着しており、大学入試（17 大学）や就職試験の選考項目として活用されている例が増えてきています。さらに、生徒の進路指導等に有効活用するためにも前期での申請をお勧めします。

さて、この顕彰制度は今年度で 26 年目を迎えました。申請の Web 入力化も 16 年目となり、全国の工業系高校に定着してきました。

認定者数は、少子化に伴う生徒数減少の影響により、平成 24 年度からやや減少傾向でしたが、ブロン

ズも加わった平成 30 年度からの 5 年間は、年間を通して 1 万 5 千名以上となりました。令和 5、6 年度は若干減少しましたが、令和 7 年度よりブロンズも後期申請できるようになり、認定者数が 12,800 名となりました。今後も増えることを期待しています。

3 顕彰制度の活用について

本協会では、令和元年度より、経済的理由により大学進学を断念せざるを得ない生徒（および進学を希望する大学）のために、大学指定校特別推薦枠を設けております。内容は、入学金免除、授業料の免除・減額、奨学金の支給、出願資格付与等であり、当初 1 大学から開始したものが、現在では京都先端科学大学、明海大学、ものづくり大学、神奈川工科大学、近畿大学、新潟工科大学、拓殖大学、関東学院大学、東海大学、芝浦工業大学の計 10 大学へと拡大しております。今後もさらに拡充に向けて取り組んでまいります。

推薦制度の条件として、原則としてジュニアマイスター顕彰制度の活用が求められます。また、入学者選抜における出願資格として JM 認定を位置付けている大学は 10 大学ございます。さらに、JM 顕彰の区分表にある資格・検定の一部を入学者選抜の評価項目として活用している大学は 7 大学あります。

4 高等学校学習指導要領とジュニアマイスター

新高等学校学習指導要領が令和 4 年度からスタートしました。「課題研究」の職業資格の取得に関する指導項目では、社会で必要な専門資格に関して調査、研究する学習活動となるように留意することが、内容を取り扱う際の配慮事項として示されています。ジュニアマイスターが生徒の学習意欲の向上に結び付くことは明らかなですが、安易に資格取得や得点獲得を目的化しないように指導する配慮も必要です。

今後も、会員各校のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和8年度 前期 ジュニアマイスター顕彰制度 申請者の県別・系別・得点分布別状況一覧

		加盟 校数	申請 校数	申請 者数	系別の内訳						得点分布状況						認定内訳		
					機械系	電気系	建設系	情報系	化学系	その他	20点～	30点～	40点～	50点～	60点～	70点～	ゴールド	シルバー	ブロンズ
1	北海道	19	3	5	4	0	1	0	0	0	2	1	1	0	1	0	1	2	2
2	青森	11	1	24	24	0	0	0	0	0	5	11	4	0	1	3	6	13	5
3	岩手	12	5	54	33	20	0	1	0	0	38	9	5	1	1	0	5	11	38
4	宮城	14	3	54	17	9	28	0	0	0	15	9	12	9	3	6	24	15	15
5	秋田	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	山形	11	6	76	34	13	3	20	2	4	29	26	13	6	1	1	15	32	29
7	福島	16	8	272	47	79	59	82	5	0	135	69	41	9	9	9	49	88	135
8	茨城	13	5	68	12	13	4	28	1	10	37	14	5	8	4	0	16	15	37
9	栃木	14	5	59	40	5	2	8	0	4	27	21	8	3	0	0	8	24	27
10	群馬	12	6	41	12	23	4	2	0	0	18	15	5	1	2	0	6	17	18
11	埼玉	15	9	116	45	32	5	30	4	0	78	24	8	3	2	1	12	26	78
12	千葉	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	東京	31	3	5	0	4	0	0	1	0	3	1	1	0	0	0	1	1	3
14	神奈川	12	5	19	2	6	1	10	0	0	4	6	3	4	2	0	7	8	4
15	山梨	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	新潟	12	3	56	8	0	31	0	1	16	30	17	6	1	2	0	7	19	30
17	長野	14	7	55	13	11	0	21	10	0	27	15	10	2	1	0	9	19	27
18	富山	8	4	31	22	9	0	0	0	0	11	13	5	2	0	0	4	16	11
19	石川	8	4	17	4	2	6	0	0	5	1	6	6	4	0	0	10	6	1
20	福井	6	2	26	10	12	4	0	0	0	12	4	6	2	2	0	8	6	12
21	静岡	18	5	32	1	16	3	10	0	2	18	6	5	2	0	1	7	7	18
22	愛知	32	23	443	197	103	70	52	1	20	218	124	64	28	8	1	82	143	218
23	岐阜	11	4	47	16	13	4	6	2	6	17	10	11	4	4	1	15	15	17
24	三重	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	滋賀	8	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
26	京都	7	4	70	44	10	13	3	0	0	31	29	6	3	1	0	6	33	31
27	大阪	25	9	25	3	12	2	4	0	4	12	2	7	1	3	0	9	4	12
28	兵庫	20	2	31	9	12	8	0	0	2	16	9	3	0	1	2	3	12	16
29	奈良	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30	和歌山	6	1	11	1	0	9	0	0	1	5	3	2	1	0	0	2	4	5
31	鳥取	5	2	17	2	8	5	2	0	0	14	2	1	0	0	0	0	3	14
32	島根	4	2	20	10	1	4	5	0	0	14	5	1	0	0	0	1	5	14
33	岡山	18	8	156	58	23	28	22	18	7	58	52	22	10	10	4	37	61	58
34	広島	14	7	90	52	17	15	5	1	0	25	34	25	2	2	2	26	39	25
35	山口	19	3	27	2	25	0	0	0	0	11	10	3	2	1	0	5	11	11
36	徳島	4	2	49	4	15	4	26	0	0	38	9	0	2	0	0	2	9	38
37	香川	7	2	7	0	5	0	0	2	0	1	1	3	2	0	0	5	1	1
38	愛媛	11	3	99	17	32	39	9	2	0	4	34	37	13	5	6	42	53	4
39	高知	6	2	58	7	14	13	23	1	0	40	12	4	0	1	0	3	14	40
40	福岡	23	14	567	229	79	57	155	16	31	244	127	106	47	28	12	142	178	244
41	佐賀	8	3	56	22	25	4	5	0	0	24	22	6	2	0	2	4	28	24
42	長崎	9	6	361	177	69	88	22	5	0	146	105	58	28	15	9	87	128	146
43	熊本	14	6	361	172	52	48	61	28	0	100	147	59	36	12	7	81	180	100
44	大分	13	2	73	4	7	58	3	1	0	20	11	34	7	0	1	33	20	20
45	宮崎	10	3	19	0	12	7	0	0	0	0	5	10	4	0	0	14	5	0
46	鹿児島	19	7	96	13	45	13	21	0	4	22	31	14	15	11	3	34	40	22
47	沖縄	9	4	35	10	6	8	3	3	5	4	13	7	10	1	0	17	14	4
合計		585	204	3,729	1,377	840	648	639	104	121	1,555	1,064	627	274	134	71	845	1,325	1,555

全日本ロボット相撲大会 2026

開 催 要 項

1. 趣 旨

高等学校生徒並びに高等専門学校、専門学校、大学等の学生、一般社会人に、ロボット作りを通じて技術の基礎・基本を確実に習得させるとともに、技術研究の目標と実際に問題解決する体験の機会を与え、もって生徒・学生等の学習意欲の向上と自発的、創造的な学習態度の育成に資する。併せて、海外からの招致選手による国際的な広い視野を養い、海外に通用する人材の育成、新技術への関心と夢を育み、ロボット技術の向上を目指す。

2. 大会運営の概要

- (1) 全国を地区に分け、地区大会（予選）を実施する。地区大会は、高校生のみ参加できる。別表の日程（土曜・日曜）にて大会開催地区に所在する高等学校体育館等を借用して実施することを原則とする。
- (2) ロボット力士は自立型とラジコン型の2種とし、それぞれ予選・決勝を行う。
- (3) 全日本の部は高校生だけでなく高等専門学校生・専門学校生・大学生・社会人及び一般愛好家等、誰もが参加できる。
- (4) 高校の部については、地区大会にて「高校生ロボット相撲全国大会」の出場予選、並びに上位の力士を選出する。選出数は地区により異なり、別に示す。
- (5) 全日本の部については、予選トーナメントにて「全日本ロボット相撲決勝大会」に出場する力士を選出する。また、主催者が公認する大会の上位入賞者について決勝大会への出場権を与える。

3. ロボット規格及び試合方法の概要

以下に示すほか詳細については、別紙「試合規則」による。

(1) ロボット力士の規格

- ① ロボット力士の外形は、3kg クラスは幅 20cm、奥行き 20cm、500g クラスにおいては幅 10 cm、奥行き 10 cm、高さ自由の四角形枠内に収まるものとする（形状は自由）。
- ② ロボット力士の体重は附属部品を含めて、3kg クラスでは 3kg 以内、500g クラスでは 500g 以内とする。
- ③ ロボット力士は、自立型・ラジコン型の2種とする。
自立型とは、審判の合図で取組を開始する際、審判がリモコンでロボットのスタートを指示した後、ロボット自身が人手を介さず行動を開始するものである。
ラジコン型とは、参加者が無線制御機を用いてロボットを遠隔操作するものである。
- ④ 自立型の制御方法は自由とする。ただし、スタート及びストップについては、事務局が指定する制御に合わせて動作するものとする。
- ⑤ ラジコン型での使用電波は、2.4GHz、27MHz（01～12）のナローバンドまたは 40MHz（61、63、65、67、69、71、73、75 バンド）の陸上用とする。
- ⑥ なお、ロボット力士には、製作者が 6 文字以内の「しこ名」をつける。

(2) 試合の定義と土俵規格

- ①試合は試合者（ロボット操作員は1台のロボットにつき1名とし、3kgクラスでは別途1名の補助員をつけることができる）双方が試合規則に従って、定められた土俵内において、試合者が独自に製作したロボットを用いて相手を土俵外に押し出したものを勝ちとする。また、土俵内で有効決まり手（別紙試合規則による）を競い、審判員の判定により勝敗を決めるものである。
- ②試合は3分間3本勝負とする。
- ③試合方式は自立型、ラジコン型ともトーナメント方式による。
- ④土俵は3kgクラスにおいては高さ5cm、直径154cmアルミ製板の上に黒色の鋼板（厚さ1.6mm）を32本のボルトで止めた円形とする。
500gクラスにおいては高さ2.5cm、直径77cmの木製（メラミン塗装もしくはメラミン化粧板）の円形とする。
- ⑤土俵内には仕切り線を設ける。土俵内外の区画線は3kgクラスにおいては幅5cm、500gクラスにおいては2.5cmの白色線（白色線は土俵内）とする。

4. 地区大会（予選会）

(1) 主 催

富士ソフト株式会社、公益社団法人全国工業高等学校長協会

(2) 後 援

開催都道府県教育委員会

(3) 大会概要

- ①全国を次の地区に分け、地区大会（予選会）を開催する。
参加見込み及び開催地区の状況を勘案し開催地区を変更する場合がある。
北海道大会、東北大会、北信越・東海大会、関東大会、近畿大会、
中国・四国大会、九州大会
- ②参加者の範囲
高校の部：高等学校生徒（500gクラスのみ実施）
- ③高校の部では、「高校生ロボット相撲全国大会 2026」（高校生のみ）への参加ロボット力士を選出する。選出台数は別表による。
- (4) 地区大会開催会場、開催日、全国大会への選出台数は別紙のとおり。ただし、日程／会場は、都合により変更することもある。
- (5) 申込要領、申込先
 - ①申込は、インターネットにて行う。全日本ロボット相撲大会ホームページに用意された登録フォームより必要事項を入力し、以下の期日までに申し込む（厳守）。
申し込み：令和8年7月31日まで（高校の部、全日本の部）
ホームページ URL: <http://www.fsi.co.jp/robot/>
 - ②申込に必要な登録料は無料とする。
 - ③申込は操作員1名につき1台。
高校の部の場合は、所属地区大会への登録のみとし、1校自立型、ラジコン型の部門ごとに複数地区大会への登録は認めない。

5. 「高校生ロボット相撲全国大会」（決勝大会）

(1) 主 催

公益社団法人全国工業高等学校長協会

- (2) 後 援（申請予定）
文部科学省、経済産業省
公益財団法人産業教育振興中央会
- (3) 協 賛
富士ソフト株式会社
- (4) 開催日
令和8年11月28日（土）
- (5) 会 場
ビッグパレットふくしま
福島県郡山市南二丁目52
- (6) 参加者
自立型、ラジコン型とも地区大会（予選会）における高校生上位各32台
（計64台）により、自立型、ラジコン型それぞれトーナメント方式により
決勝戦を行う。
- (7) 表 彰
賞 状：文部科学大臣賞（予定）
経済産業大臣賞（予定）
公益財団法人産業教育振興中央会会長賞（予定）
公益社団法人全国工業高等学校長協会理事長賞（予定）
副 賞：富士ソフト株式会社賞
- (8) その他
コロナの影響等により、開催中止となった場合は、各都道府県の代表となる
ロボットについて相撲ロボット製作コンテストを実施する。

6. 「全日本ロボット相撲全国大会」（決勝大会）

- (1) 主 催
富士ソフト株式会社
- (2) 後 援（申請予定）
文部科学省
公益社団法人全国工業高等学校長協会
- (3) 開催日
12月19日（土）、20日（日）
- (4) 会 場
国技館（東京・両国）
東京都墨田区横網1-3-28
- (5) 参加者
大会への参加申込者による予選会を実施し、予選会通過者及び主催者が公認する
国内大会上位入賞者により、自立型、ラジコン型それぞれ決勝大会において、
トーナメント方式により決勝戦を行う。
- (6) 表 彰
賞 状：文部科学大臣杯（予定）、文部科学大臣賞（予定）
富士ソフト株式会社賞
副 賞：富士ソフト株式会社賞

以 上

今後の事業の収支対策等検討

I 会費の値上げ

決定→第 77 回「総会・研究協議会」で周知→令和 9 年度から値上げ

II 今後の事業の収支対策検討

- ・ 検定料等の振込の取扱い
 - ➡ 郵貯での振込を検討、問題集販売クラウドシステムにおける消込作業の検討
- ・ テナント賃料の値上げ
 - ➡ 過去の契約書を見直し、入居者ごとの賃料改定時期を調査中
なお、不動産管理会社への管理委託を予定
- ・ 駐車場貸出
 - ➡ 3 台分貸出、契約・工事終了、7 月 21 日（火）より営業
- ・ 会議室・ホール・展示室の活用を検討
 - ➡ 会議室・ホールの貸出規定の見直し
1 階展示室を、ワークスペースとしても活用できる部屋へ
- ・ 協会ホームページのリニューアル
 - ➡ 「公的な信頼感」と「生徒の熱気」を両立し、業務を劇的に効率化するサイト設計
- ・ 要覧（冊子またはデジタル等）
 - ➡ 令和 8 年度より廃止、協会ホームページに「会員名簿」を掲載
- ・ 工業教育誌 ➡ 減冊を検討中
- ・ ペーパーレス化
 - ➡ 理事会・業務執行理事会の pdf 化、総会配布資料の pdf 化等により紙の大幅削減
- ・ 原稿料の値下げ ➡ 現行どおり
- ・ 事業の見直し等（JMCR、ロボット相撲、技術・アイディアコンテスト、製図コンテスト）
 - ➡ 検討中、なお、ロボット相撲大会は今年度をもって富士ソフトによる主催が終了
- ・ 産振中央会への補助金・会費の減額、規程集の見直し等 ➡ 協議中
- ・ 指導者養成講習会、高校生海外研修 ➡ 検討中

(別紙)

第21回若年者ものづくり競技大会 入賞者一覧

令和8年8月3日

職種	賞	氏名	所属
①メカトロニクス 【参加選手数:20チーム40名】	金賞/厚生労働大臣賞	倉間 心	岐阜県立岐阜工業高等学校
		森 悠輝	
	銀賞	田中 陽色	九州職業能力開発大学校
		山下 孔雅	
	銅賞	外山 周磨	愛知県立愛知総合工科高等学校 専攻科
②機械製図(CAD) 【参加選手数:21名】		松生 昂己	
	敢闘賞	松永 興明	日立工業専修学校
		屋代 瑞希	
	金賞/厚生労働大臣賞	原口 武龍	長崎県立長崎工業高等学校
	銀賞	小嶋 大輝	愛知県立愛知総合工科高等学校 専攻科
	銀賞	柴田 一輝	大分県立工科短期大学校
	銀賞	松田 琳子	北海道職業能力開発大学校
	銅賞	伊藤 碧弥	宮城県工業高等学校
	銅賞	中村 和樹	北陸職業能力開発大学校
	敢闘賞	柏木 ちな	神奈川県立産業技術短期大学校
③旋盤 【参加選手数:26名】	敢闘賞	當摩 銀児	宮城県古川工業高等学校
	敢闘賞	市川 大祐	静岡県立科学技術高等学校
	金賞/厚生労働大臣賞	大深 圭太郎	山口県立岩国工業高等学校
	銀賞	青野 咲也	静岡県立工科短期大学校 静岡キャンパス
	銀賞	川崎 善毅	岩手県立黒沢尻工業高等学校 専攻科
	銀賞	佐藤 凜一	静岡県立工科短期大学校 沼津キャンパス
	銅賞	藏元 勇登	川内職業能力開発短期大学校
	銅賞	山岸 昭成	新潟県立三条テクノスクール
	敢闘賞	森園 怜	兵庫県立飾磨工業高等学校
	敢闘賞	根井 琳紗子	岩手県立久慈翔北高等学校
	敢闘賞	中村 綾介	福井県立科学技術高等学校
	敢闘賞	菅原 康太郎	秋田県立湯沢翔北高等学校 専攻科
	敢闘賞	山本 琉聖	富山県立砺波工業高等学校
	敢闘賞	根本 涼太	日立工業専修学校
④フライス盤 【参加選手数:24名】	敢闘賞	堀越 莉駕	神奈川県立産業技術短期大学校
	金賞/厚生労働大臣賞	池田 陽斗	鹿児島県立川内商工高等学校
	銀賞	清水 優季	静岡県立工科短期大学校 沼津キャンパス
	銀賞	渡邊 心	栃木県立県央産業技術専門校
	銀賞	武山 夏樹	宮城県工業高等学校
	銅賞	玉城 星夏	沖縄県立沖縄工業高等学校
	銅賞	佐藤 天風	宮城県古川工業高等学校
	敢闘賞	米谷 陸玖	九州職業能力開発大学校
⑤電子回路組立て 【参加選手数:21名】	敢闘賞	永吉 一惺	川内職業能力開発短期大学校
	金賞/厚生労働大臣賞	酒井 葵	長崎県立長崎工業高等学校
	銀賞	杉本 悠斗	愛媛県立松山工業高等学校
	銅賞	瀬野 吏温	四国職業能力開発大学校
	敢闘賞	近藤 有真	富山県立砺波工業高等学校
	敢闘賞	小川 優太	栃木県立県央産業技術専門校
	敢闘賞	磯村 哲旗	山口県立徳山商工高等学校
	敢闘賞	池内 蒔人	神奈川県立産業技術短期大学校
⑥電気工事 【参加選手数:16名】	敢闘賞	岩元 洸太郎	静岡県立工科短期大学校 沼津キャンパス
	金賞/厚生労働大臣賞	吉川 陽斗	兵庫県立西脇工業高等学校
	銀賞	橋本 威吹	茨城県立玉造工業高等学校
	銀賞	川野 太暉	愛知県立愛知総合工科高等学校
	敢闘賞	松村 琉空	長崎県立長崎工業高等学校
	敢闘賞	細馬 拓斗	広島県立呉工業高等学校
	敢闘賞	佐藤 凪	宮崎県立産業技術専門校
	敢闘賞	熊谷 悠希	秋田県立秋田工業高等学校
⑦木材加工 【参加選手数:18名】	敢闘賞	山内 太稀	高知県立高知東工業高等学校
	金賞/厚生労働大臣賞	加賀 七星	名古屋市長立工芸高等学校
	銀賞	藤井 陽都	ものづくり大学 建設学科
	銅賞	中川 奏	東京都立工芸高等学校
	銅賞	北垣 天響	佐賀県立産業技術学院
	敢闘賞	石井 綸	広島県立福山工業高等学校
	敢闘賞	井出 依芭	愛知県立名古屋聾学校 専攻科
	敢闘賞	崎間 陽光	沖縄県立沖縄工業高等学校
	敢闘賞	野中 人輝	長崎県立長崎工業高等学校
	敢闘賞	西村 若香	山口県立萩商工高等学校

職種	賞	氏名	所属
⑧建築大工 【参加選手数:28名】	金賞/厚生労働大臣賞	藤木 礼和	新潟県立魚沼テクノスクール
	銀賞	横尾 友香	佐賀県立産業技術学院
	銀賞	小林 脩翔	愛媛県立吉田高等学校
	銀賞	小林 遥仁	岩手県立二戸高等技術専門校
	銅賞	徳永 吏矩	熊本県立球磨工業高等学校
	銅賞	安芸 綺花	北海道旭川工業高等学校
	銅賞	渡邊 陽	新潟建築・インテリア・ものづくり大学校
	敢闘賞	尾崎 康貴	愛知産業大学
	敢闘賞	菅 勢吾	秋田県立秋田工業高等学校
	敢闘賞	三浦 優史	岩手県立産業技術短期大学校
	敢闘賞	橋倉 八千留	宮崎県立産業技術専門校
	敢闘賞	塚田 ひかり	栃木県立県央産業技術専門校
	敢闘賞	俣田 力駆	千葉職業能力開発短期大学校
	敢闘賞	俣田 力駆	千葉職業能力開発短期大学校
⑨自動車整備 【参加選手数:13名】	金賞/厚生労働大臣賞	安藤 伊吹	飛龍高等学校
	銅賞	若狭 吾侑	岩手県立二戸高等技術専門校
	銅賞	佐々木 一心	岩手県立千厩高等技術専門校
	敢闘賞	黒田 暖人	岡山県立北部高等技術専門校美作校
	敢闘賞	唐岩 伸治	高知県立高知高等技術学校
	敢闘賞	小林 孝哉	新潟県立上越テクノスクール
⑩ITネットワークシステム管理 【参加選手数:18名】	金賞/厚生労働大臣賞	松本 莉矩	四国職業能力開発大学校
	銀賞	大霜 駿斗	麻生情報ビジネス専門学校
	銅賞	中山 大地	日本電子専門学校
	銅賞	高山 しおん	栃木県立県央産業技術専門校
	銅賞	米川 明希	愛知県立愛知総合工科高等学校
	敢闘賞	井上 楓	東海職業能力開発大学校
	敢闘賞	伊藤 丈翔	YIC情報ビジネス専門学校
	敢闘賞	祝部 和己	島根職業能力開発短期大学校
⑪ウェブデザイン 【参加選手数:22名】	金賞/厚生労働大臣賞	米津 祐人	岐阜県立大垣工業高等学校
	金賞/厚生労働大臣賞	江口 碧華	日本電子専門学校
	銀賞	大塚 優	名古屋市立工芸高等学校
	銀賞	三浦 蓮翔	彩星工科高等学校
	銀賞	高柳 埜乃果	トライデントコンピュータ専門学校
	銅賞	秦 寧彩	東京電子専門学校
	銅賞	福島 駿弥	ECCコンピュータ専門学校
	銅賞	澤田 翔	日本電子専門学校
	敢闘賞	三枝 亮太	東京電子専門学校
	敢闘賞	井上 楓凱	宮城県工業高等学校
	敢闘賞	田嶋 友萌乃	長崎県立長崎工業高等学校
⑫ソフトウェアアプリケーション開発 【参加選手数:7名】	金賞/厚生労働大臣賞	弓場 聖	名古屋市立工芸高等学校
	金賞/厚生労働大臣賞	長澤 巧	宮城県工業高等学校
	銅賞	金田 晃太	ECCコンピュータ専門学校
⑬グラフィックデザイン 【参加選手数:14名】	敢闘賞	服部 将也	愛知県立愛知総合工科高等学校
	金賞/厚生労働大臣賞	村澤 宥来	日本電子専門学校
	銀賞	齋藤 絢心	秋田コア ビジネスカレッジ
	銅賞	戸川 大成	神戸電子専門学校
	銅賞	清水 啓太	東京電子専門学校
	銅賞	平野 真生	山口芸術短期大学
	敢闘賞	上田 あま音	ECCコンピュータ専門学校
	敢闘賞	鈴木 衣知花	愛知県立愛知総合工科高等学校
⑭ロボットソフト組込み 【参加選手数:21チーム42名】	金賞/厚生労働大臣賞	市橋 翼	岐阜県立岐阜工業高等学校
	金賞/厚生労働大臣賞	熊田 拓実	
	銀賞	千賀 琉功	愛知県立愛知総合工科高等学校 専攻科
	銀賞	二俣 晴	
	銀賞	前田 悠	奈良県立奈良商工高等学校
	銀賞	水野 千早矢	
	敢闘賞	井上 あおい	四国職業能力開発大学校
	敢闘賞	松尾 圭粋	
	敢闘賞	松山 晴音	青森県立弘前工業高等学校
	敢闘賞	三上 輝大	
	敢闘賞	梅田 鈴和	福島県立テクノアカデミー浜
	敢闘賞	善里 悠翔	

職種	賞	氏名	所属
⑮造園 【参加選手数;23名】	金賞/厚生労働大臣賞	小早川 桃葉	岡山県立興陽高等学校
	銀賞	岡山 龍樹	佐賀県立高志館高等学校
	銀賞	松原 大輝	東京都立園芸高等学校
	銀賞	武田 竜馬	岐阜県立加茂農林高等学校
	銅賞	阿南 颯汰	大阪府立園芸高等学校
	銅賞	中山 寧音	鹿児島県立鶴翔高等学校
	銅賞	水野 希美	愛知県立猿投農林高等学校
	敢闘賞	菅浪 蒼生	京都府立農芸高等学校
	敢闘賞	松林 香	三重県立四日市農芸高等学校
	敢闘賞	俵 琴未	大阪府立農芸高等学校
	敢闘賞	大城 柊人	沖縄県立久米島高等学校

第21回若年者ものづくり競技大会地区代表選手一覧表

令和8年8月2日

職 種	地 区 名	都道府県名	選手氏名	学 校 名	学 科	学年	結果
旋 盤	北海道地区	北海道	水戸 彪賀	北海道札幌工業高等学校	機械科	3年	
	東北地区	岩手県	根井 琳紗子	岩手県立久慈翔北高等学校	電子機械科	3年	敢闘賞
	関東地区	群馬県	直井 詩	群馬県立桐生工業高等学校	機械科	2年	
	北信越地区	福井県	中村 稜介	福井県立科学技術高等学校	機械システム科	3年	敢闘賞
	東海地区	愛知県	小川 樹希	愛知県立愛知総合工科高等学校	機械加工科	3年	
	近畿地区	兵庫県	森園 怜	兵庫県立飾磨工業高等学校	機械工学科	2年	敢闘賞
	中国地区	山口県	大深 圭太郎	山口県立岩国工業高等学校	機械科	3年	金賞
	四国地区	愛媛県	林 杏奈	愛媛県立松山工業高等学校	機械科	3年	
	九州地区	福岡県	葉山 瞬	福岡市立博多工業高等学校	機械科	3年	
電子回路 組立て	北海道地区	北海道	小川 耀一朗	北海道札幌琴似工業高等学校	情報技術科	3年	
	東北地区	福島県	熊田 直輝	福島県立郡山北工業高等学校	情報技術科	2年	
	関東地区	群馬県	篠木 大夢	群馬県立太田工業高等学校	電気情報科	2年	
	北信越地区	富山県	近藤 有馬	富山県立砺波工業高等学校	電子科	3年	敢闘賞
	東海地区	愛知県	山田 美音	愛知県立岡崎工科高等学校	情報デザイン科	3年	
	近畿地区	兵庫県	宮永 雄斗	兵庫県立小野工業高等学校	機械工学科	3年	
	中国地区	山口県	磯村 哲旗	山口県立徳山商工高等学校	電子情報技術科	3年	敢闘賞
	四国地区	愛媛県	杉本 悠斗	愛媛県立松山工業高等学校	電子機械科	3年	銀賞
	九州地区	長崎県	酒井 葵	長崎県立長崎工業高等学校	情報技術科	3年	金賞
電気工事	北海道地区	北海道	松浦 京次郎	北海道滝川工業高等学校	電気科	3年	
	東北地区	秋田県	熊谷 悠希	秋田県立秋田工業高等学校	電気エネルギー科	3年	敢闘賞
	関東地区	茨城県	橋本 威吹	茨城県立玉造工業高等学校	電気科	3年	銀賞
	北信越地区	石川県	原 涼真	金沢市立工業高等学校	電気科	3年	
	東海地区	愛知県	川野 太暉	愛知県立愛知総合工科高等学校	電気科	3年	銀賞
	近畿地区	兵庫県	吉川 陽斗	兵庫県立西脇工業高等学校	電気科	3年	金賞
	中国地区	広島県	細馬 拓斗	広島県立呉工業高等学校	電気科	3年	敢闘賞
	四国地区	高知県	山内 太稀	高知県立高知東工業高等学校	電子機械科	3年	敢闘賞
	九州地区	長崎県	松村 琉空	長崎県立長崎工業高等学校	電気科	2年	敢闘賞
建築大工	北海道地区	北海道	安芸 絢花	北海道旭川工業高等学校	建築科	3年	銅賞
	東北地区	秋田県	菅 勢吾	秋田県立秋田工業高等学校	建築科	3年	敢闘賞
	関東地区	茨城県	大森 雄太	茨城県立水戸工業高等学校	建築科	3年	
	北信越地区	石川県	嶋田 一斗	金沢市立工業高等学校	建築科	3年	
	東海地区	愛知県	榎阪 陸	愛知県立愛知総合工科高等学校	建設科	3年	
	近畿地区						
	中国地区	広島県	奥野 祥伍	広島県立広島工業高等学校	建築科	3年	
	四国地区	愛媛県	小林 脩翔	愛媛県立吉田高等学校	機械建築工学	3年	銀賞
	九州地区	熊本県	徳永吏矩	熊本県立球磨工業高等学校	建築科	3年	銅賞
自動車 整備	北海道地区	北海道	鈴木 新平	北海道苫小牧工業高等学校	電子機械科	3年	
	東北地区						
	関東地区	栃木県	加藤 陽向	作新学院高等学校	自動車整備士養成科	2年	
	北信越地区						
	東海地区	静岡県	安藤 伊吹	飛龍高等学校	自動車工業科	3年	金賞
	近畿地区	京都府	平園 祐太	京都府立田辺高等学校	工学探求科	2年	
	中国地区	岡山県	和田 遥希	おかやま山陽高等学校	自動車科	2年	
	四国地区						
	九州地区	長崎県	井手口 空良	長崎県立長崎工業高等学校	機械科	3年	



教育用機器の整備

[ホーム](#) > [補助申請について](#) > 教育用機器の整備

1. [募集要項](#)
2. [申請の手順](#)
3. [よくあるご質問](#)
4. [お問い合わせ](#)

※現在、要望申請期間外です。事業者登録のみ右記ボタンより行うことができます。

事業者登録方法の詳細は[こちら](#)



新規登録はこちら

※現在、申請期間外です。



1. 募集要項

(1) 補助の対象者

工業・工科・科学技術高等学校

(2) 補助の対象外となる者

- ①同一事業において国又は他の団体（他の公営競技や宝くじ、その他民間助成団体）からの補助を受けている者
- ②自らのホームページで活動状況等を継続的に情報発信していない者、又はSNSのみで情報発信をしている者

(3) 事業経費の基準

①対象となる機器

日本の工業や産業の専門技術や知識を習得するために必要な機器とします。

②対象となる経費

機器及び建屋内設置場所までの搬送・据付、現地試運転調整に係わる費用

(4) 補助率及び補助金上限額

補助率：1/1

補助金上限額：300万円

(5) 補助事業の実施期間

2027年4月1日以降に事業を開始し、2028年3月31日までに完了することを原則とします。

(6) 申請期間

2026年9月30日（水）10時～10月30日（金）15時

※事業者登録は7月1日（水）10時から10月23日（金）15時までです。

10月23日（金）15時の時点で事業者登録手続きが完了できていない場合、申請できません。

(7) 申請方法

申請はインターネットのみとなります。なお、新しいシステムでの申請となりますので、詳細は「2.申請の手順」をご覧ください。

その他募集要項の詳細については、[2027年度「補助方針」\(PDF\)](#)をご確認ください。

2. 申請の手順

申請手順の詳細につきましては、7月中旬に公開予定です。

なお、事業者登録方法につきましては、以下の資料をご覧ください。

▶ [マイページ登録手続きガイド \(PDF\)](#)

3. よくあるご質問

よくあるご質問は[こちら](#)をご覧ください。

4. お問い合わせ

・要望に関するお問い合わせは[こちら](#)

・インターネット申請手続きに関するお問い合わせは[こちら](#)

○ 補助申請について

- 補助事業要望申請について
- 2027年度補助方針
- 2026年度補助方針

○ 補助事業者の方へ

- 補助事業者の方へお知らせ
- 交付受諾手続き引き(ガイド)
- 事務手続要領(ガイド)
- 事務手続書類
- ロゴマーク (CYCLE・競輪・オートレース)
- 福祉車両・就労支援車両等・検診車等におけるロゴマーク表示
- WEBリンクバナー
- イベント情報提供のお願い
- PRツールのご提供について
- 補助事業者専用ページ (事業者フロント)

○ 補助事業について

- 補助事業の流れ
- 補助事業の評価
- 補助事業の沿革
- 補助事業一覧
- 補助事業一覧

○ (公財)JKAについて

- プロフィール
- 組織
- 事業計画
- 沿革

○ その他

- テレビ・ラジオCM
- イベント情報
- 補助事業 紹介動画
- パンフレット
- 資料室 (補助方針・審査評価委員会・規程)
- 競輪は適度に楽しみましょう
- オートレースは適度に楽しみましょう



- ホーム
- お問い合わせ
- よくあるご質問
- サイトマップ
- プライバシーポリシー



公益財団法人 JKA
郵便番号108-8206 東京都港区港南一丁目2番70号
品川シーズンテラス25階

Copyright © JKA, All Rights Reserved.

BATON委員一覧（2026年4月時点）

BATON 総会

・ 構成：会員およびオブザーバー

事務局：BASC、BAJ

※五十音順で記載

※太字は正委員

高校・高専向け教育プログラム 普及委員会

【学術会員】

- ・ 全国工業高等学校長協会 **湯澤 修一** 事務局長
江口 敏彦 事務局次長
- ・ 国立高等専門学校機構
石川工業高等専門学校 電気工学科 **山田 悟** 教授
新居浜工業高等専門学校
電気情報工学科 香川 福有 教授
本部事務局 学務参事 野口 健太郎

【企業会員】

- ・ 株式会社 GSユアサ
研究開発センター **水田 芳彦**
研究開発センター 岡部 一弥
- ・ トヨタバッテリー株式会社
基盤本部 渉外・広報室 社会貢献・地域連携G
主幹 **服部 洋平**
- ・ パナソニックエナジー株式会社
政策渉外部 政策企画課 課長 **元岡 慎一郎**
政策渉外部 渉外課 主幹 吉澤 彩
- ・ プライムプラネットエナジー＆ソリューションズ株式会社
HR戦略・業務支援部 採用・育成室 研修G
グループ長 **中嶋 典生**
本多 健人
藤阪 悦也

大学へのバッテリー教育 普及委員会

【学術会員】

- ・ 大阪大学 産業科学研究所 **山田 裕貴** 教授
- ・ 九州大学 先端物質化学研究所 **栄部 比夏里** 教授
- ・ 京都大学 工学研究科物質エネルギー化学専攻
安部 武志 教授
- ・ 静岡大学 工学部 **嵯峨根 史洋** 准教授
- ・ 東京大学 工学系研究科 **山田 淳夫** 教授
- ・ 東京都立大学 大学院都市環境科学研究科
環境応用化学域 **梶原 浩一** 教授
- ・ 同志社大学 理工学部 **稲葉 稔** 教授
- ・ 名古屋大学 理工学部 **土井 貴之** 教授
- ・ 名古屋大学 大学院工学研究科 **入山 恭寿** 教授
- ・ 兵庫県立大学 大学院工学研究科 **福塚 友和** 教授
- ・ 兵庫県立大学 大学院工学研究科 **松尾 吉晃** 教授
- ・ 三重大学 工学研究科 **嶺重 温** 教授
- ・ 立命館大学 生命科学部 **今西 誠之** 教授
- ・ 早稲田大学 理工学術院 **折笠 有基** 教授
- ・ 早稲田大学 理工学術院 **所 千晴** 教授

【企業会員】

- ・ 株式会社 GSユアサ 経営戦略室 リーダー **石渡 まりな**
研究開発センター 鳥山 順一
- ・ トヨタバッテリー株式会社
基盤本部 渉外・広報室 戦略渉外G 主幹 **柏木 克巨**
- ・ パナソニックエナジー株式会社
競争力革新統括室 技術戦略室 エナジー解析部長 **湯浅 浩次**
- ・ パナソニックホールディングス株式会社
渉外本部 渉外部 政策渉外課 エキスパート **毛利 亨**
- ・ プライムプラネットエナジー＆ソリューションズ株式会社
HR戦略・業務支援部 採用・育成室 研修G グループ長 **中嶋 典生**
本多 健人
藤阪 悦也

運営委員会

【企業会員】

- ・ 株式会社 GSユアサ
経営戦略室 部長 **岩田 章**
経営戦略室 リーダー 石渡 まりな
人事部 リーダー 中林 靖蔵
- ・ トヨタバッテリー株式会社
基盤本部 渉外・広報室 社会貢献・地域連携G
主幹 **服部 洋平**
- ・ パナソニックエナジー株式会社
人事・総務センター タレント・アキュイジション推進部
部長 **上田 弘二**
- ・ プライムプラネットエナジー＆ソリューションズ株式会社
HR戦略・業務支援部 部長 **山口 豊**
HR戦略・業務支援部 採用・育成室
室長 金井 昌宏

【座長・委員長（予定含む）】

- ・ 早稲田大学 理工学術院 教授 **所 千晴**
- ・ 国立高等専門学校機構
石川工業高等専門学校 電気工学科教授 **山田 悟**
本部事務局 学務参事 **野口 健太郎**
- ・ 東京大学 工学系研究科 教授 **山田 淳夫**

オブザーバー

- ・ 経済産業省
商務情報政策局 電池産業課
経済産業政策局 産業人材課
東北経済産業局
関東経済産業局
近畿経済産業局
四国経済産業局
九州経済産業局
- ・ 文部科学省
初等中等教育局 参事官（高等学校担当）
高等教育局 専門教育課

BATON活動の論点整理案（活動の全体像）

論点との関連	教育課程		既存取組			仕掛中		構 想			
			既存取組			仕掛中		構 想			
			既存取組			仕掛中		構 想			
A. 認知形成・興味喚起	高校未満		個社での地域活動			若年層向けの活動/イベント？ 普通科へ拡大？					
	高校	普通科	近畿地区							26年度重点分野	
		工業高校								宮城/群馬/福岡	
	高専		拠点校		全国の希望校/MCC plus化						
B. 産学連携講義の拡充	大学	学部	早稲田大学講義			大学と連携に向け協議					
C. 育成対象の拡大		博士前期				早稲田との協定活用（東京大学）					
		博士後期									
D. 高度人材の育成強化	社会人					早稲田大学 リカレント教育事業					
E. 教育プログラム利活用促進	教材		事例収集/教員説明会/教材メテ			事務業務効率化/サイトリニューアル					

高校向け「バッテリー教育プログラム」に係る教員向け説明会の開催について

- 高校の教員、ご関係の皆様は「バッテリー教育プログラム」の実施を検討いただくために、教育プログラムの概要や実施事例を紹介するとともに、実施時の具体的な手続きをご案内する場として、教員の皆様を対象とした「バッテリー教育プログラムに係る教員向け説明会」を、Day1、Day2の2日間にわたって開催します。
- **Day1**では、バッテリー教育プログラムの概要や産業界からの期待、実際に授業を実施された先生方からの事例の共有や質疑応答を実施、**Day2**では、学生が学ぶ「小型電池製造実習」を**実際に体験**いただきます。

Day 1 : 全体説明会

日時：令和7年11月12日(水) 14時～17時

場所：産総研・関経連うめきたサイト

(大阪市北区大深町6番38号 グラングリーン大阪 北館

JAM BASE 4 階)

※一部ハイブリッド&後日アーカイブ配信

概要：

タイトル	概要
趣旨説明	・ バッテリー教育プログラムの概要 ・ 産業界からのメッセージ
バッテリー授業実施結果の共有・質疑応答	・ バッテリー教育プログラムを実施された先生方や企業派遣講師から、授業展開の工夫等の事例共有 ・ 質疑応答
事務連絡	・ バッテリー教育プログラムの実施に係る具体的な手続き ・ Day2のご案内
名刺交換会	希望者のみ参加

Day2 : 小型電池製造実習説明会

日時：令和7年12月3日(水) 13時00分～16時30分

場所：産業技術総合研究所 関西センター

(大阪府池田市緑丘1-8-31)

概要：

タイトル	概要
概要説明	・ 小型電池製造実習の概要
座学	・ 電池基礎講座 ・ 実習概要説明 ・ 実習内容の振り返り
小型電池製造の実習体験・質疑応答	・ 参加者による小型電池製造実習の体験 ・ 質疑応答

□ Day1、Day2は両日参加、1日のみの参加いずれも可能です。

□ 内容は今後変更となる可能性があります

国家試験（電工、電験）における 工業高校との連携について

工業教育 x 国家試験の 包括連携協定の締結

共通課題

- ・人口減少・担い手不足
- ・教員と学校の負担増加
- ・社会の電気エネルギーシフト
- ・技術革新と保安の高度化

電気技術者の育成・支援に関する包括的連携協定

主要事業（一部、実施中）

- ①工業高校等が実施する教育・技能開発のための支援
- ②特色ある教育の取り組みに関する表彰と助成、広報
- ③**各地の高校施設（PC教室等）を使った国家試験の実施**
- ④**スクールページ開設による各種手続・成績管理の一元化**
- ⑤使用済技能試験材料を提供し学校教材として使用

等

電気技術者試験センター

電気工事士試験（電工1.2種）、電気主任技術者試験（電験1.2.3種）の経済産業大臣指定試験機関、電験免状発行機関（一般財団法人）。両試験合計で年間約31万人受験。

- ・国家試験の実施
- ・人材育成のための調査研究
- ・電気関連競技会の支援 等

全国工業高等学校長協会（全工協）

工業教育を実施する全国高等学校長の全国組織。各都道府県に代表校を置き、国公私立650校が参加（公益社団法人）

- ・工業教育の振興
- ・各種検定の実施
- ・ものづくりコンテスト
- ・基礎学力テスト、研究 等

高校オンサイト型CBT試験 （CBT出前試験）の展開

CBT試験、学校手続・管理の一元化

- ・従来の筆記からPCと情報ネットワークを使用する試験
- ・日程・会場変更など柔軟性に富み、災害等にも強靱

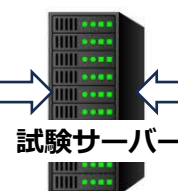
高校PC教室等を用いた出前CBT試験（日本初）

オンサイト（出前）会場
※出前＝会場に足を運ばなくても
学校で試験完結

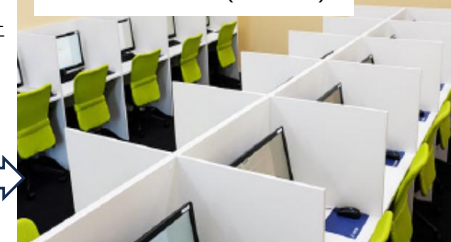


例：金沢工業大学における電験CBT会場

受験者毎に異なる問題セット
即時採点・結果通知
災害等があれば安全優先に中止
、迅速再開
予定変更も容易



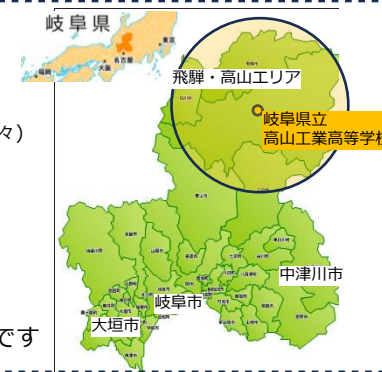
全国常設CBT会場(300会場)



出典：CBT-Solutions

- 高校オンサイト型CBT試験
開催校：岐阜県立高山工業高校
日 時：令和8年5月24日（日） 午前10時開場
受験予定者：30名程度（高山工業高校、飛騨高山高等学校の生徒の方々）
- 包括連携協定調印式
場 所：高山市内会場（別途ご案内）
日 時：同日 午前11時～12時の間
来賓等：ご案内中

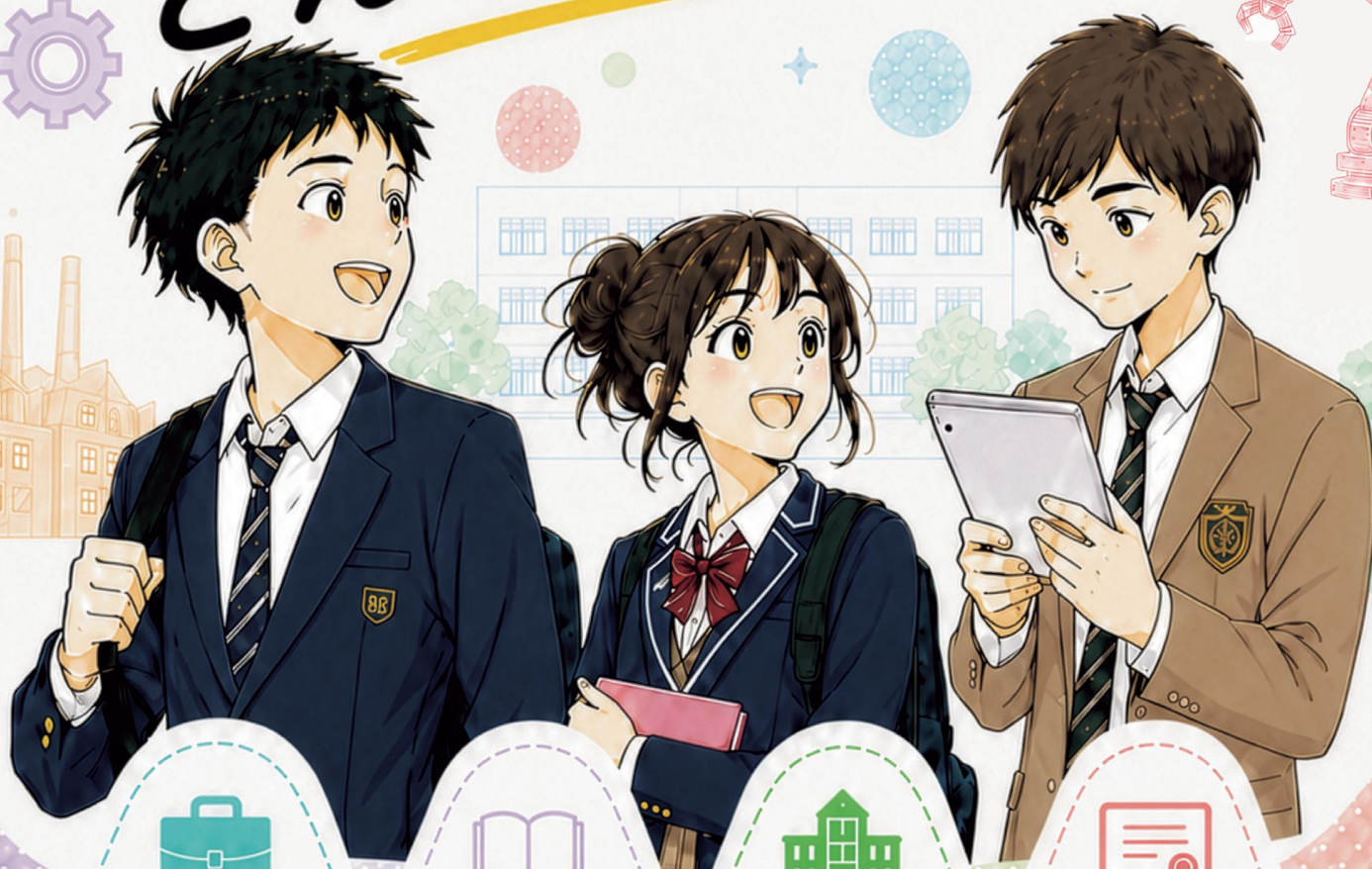
※ CBT試験、調印式とも登録・ルールご了解の上、撮影・取材可能です



自分の「好き」を見つけよう!

工業高校! どんなところ?

工業高校の
魅力が
この一冊に
ぎゅっと



就職が
すごい



進学も
できる



歴史が
すごい



資格が
とれる

つくる**チカラ**で、**未来**を変える!

公益社団法人 全国工業高等学校長協会

工業高校入学までの道のり

中学 3 年生

5 月 三者面談

なんとなく普通科？



北海道旭川市立 A 中学校

なおや NAOYA

プログラミング
に興味がある！



なおや

なんとなく普通科への進学を考えてます。
でも、具体的な目標はありません…

プログラミングに興味があるなら
専門的に学べる工業高校もおすすめです。



先生



おもしろそう！
工業高校も考えてみます！

体験しながら学びたい！



宮城県延岡市立 B 中学校

だいき DAIKI

車やバイクを
見るのが好き！



だいき

高校でも勉強ばかりの生活は嫌です…
どうやって高校を選べばいいのかわかりません。

工業高校の機械科はどうですか？
実習など**手を動かしながら**学べますよ



先生



僕に合ってるかもしれません！
学校説明会に行ってみます！

将来の夢がある！



長野県長野市立 C 中学校

ゆい YUI

建築士に
なりたい！



ゆい

工業高校の建築科に興味があるけど
女子が少なそうで心配です。

最近、**女子生徒も増えています**。
説明会で雰囲気がわかりますよ。



先生



そうなんですか！
実際に様子を見てきます！



近くの工業高校を探してみよう！



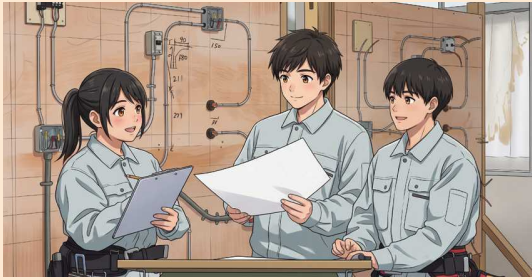
右の二次元コードを読み込むと、全国の工業高校一覧を見ることができます。

いよいよ中学3年生！進路どうする？

7月～ 学校説明会へ！

受験の決め手！

情報技術科・電気科



受験校
決定！

北海道旭川工業高等学校

プログラミングに興味はあるけど、周りと同じ普通科に行くのかなと思ってました。

でも説明会で、**国家資格の取得に向けた手厚いサポートや、進路実績**を知ってびっくり！

「**興味があることを本物の技術に変えられる場所だ！**」と思い、受験を決めました。



機械科



受験校
決定！

宮崎県立延岡工業高等学校

机に向かってばかりの高校生活は自分には合わない気がしてました。そんなとき、説明会で「エンジンの分解や組み立てができる」って聞いてとても**ワクワク**したんです！

実践的な環境でものづくりができて、**大企業への就職も強い**。「**工業高校で自立する力を身に付けよう！**」と決意しました。



建築学科



受験校
決定！

長野県長野工業高等学校

建築を勉強したいと思ってたけど、工業高校は女子が少なそうで、最初は不安でした。

でも住宅模型をつくる体験授業がすごく楽しかったし、**活躍する女子の先輩たちを知って安心！**

大学進学の実績や、指定校推薦の枠も充実してて、背中を押されるように受験を決めました！



個性イロイロ学科紹介

機械系

主に学ぶこと

- 製図
- 金属材料の性質
- 機械の設計
- 金属の加工、溶接、組立



将来の姿

- 材料開発などで活躍するエンジニア
- 航空宇宙、船舶、鉄道、自動車など精密機械加工技術を生かしたエンジニア
- 整備士

電気・電子系

主に学ぶこと

- 発電、送配電
- 半導体、電子回路
- 社会生活の基盤となる電気に関する知識・技術



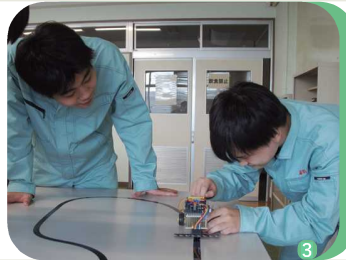
将来の姿

- 電力インフラや半導体製造などで活躍するエンジニア
- 電気工事士、電気主任技術者
- 家電製品の開発

情報系

主に学ぶこと

- コンピュータのハードウェア、ソフトウェア
- プログラミング
- 情報セキュリティ
- ネットワーク技術



将来の姿

- 社会を支える IT エンジニア
- アプリやゲームのプログラマー
- サイバーセキュリティ

建築・土木系

主に学ぶこと

- 道路、橋、トンネル、ダム、上下水道などの設計や施工
- まちづくりや都市計画
- 住宅の設計や施工、建築材料の性質



将来の姿

- 建設現場や行政機関などで活躍するエンジニア
- 建築士

工業・化学系

主に学ぶこと

- 化学製品などの分析手法や実験方法
- 環境保全



将来の姿

- 食品や素材などの製品開発や環境汚染防止などにたずさわる化学のプロフェッショナル

デザイン系

主に学ぶこと

- 写真や印刷、工業製品、インテリアなどのデザイン



将来の姿

- 広告業界や工業製品のデザインのプロフェッショナル
- 住空間や商業施設の空間デザインやコーディネーター

① 静岡県立浜松城北工業高等学校
② 埼玉県立秩父農工科学高等学校
③ 栃木県立足利工業高等学校

④ 佐賀県立嬉野高等学校
⑤ 埼玉県立久喜工業高等学校
⑥ 新潟県立長岡工業高等学校

右の二次元コードを読み込むと、全国の工業高校一覧を見ることができます。





あてはまる項目に
チェックしよう！



学科診断テスト

A

- ☐ ロボットや車、鉄道などが動くしくみに興味がある
- ☐ プラモデルなどを組み立てたり、モノを分解したりすることが好きだ
- ☐ 飛行機や船をつくったり、修理したりすることに関わってみたい
- ☐ 機械を動かして、金属を切ったり削ったりしてみたい

B



- ☐ 電気の力でモノが動くことに興味がある
- ☐ 技術科の授業で、はんだごてを使うことは楽しい
- ☐ 理科の実験で、乾電池や豆電球などを使って回路をつくることは楽しい
- ☐ 家電の内部の構造が気になる

C



- ☐ プログラミング (Scratch など) をすることは楽しい
- ☐ ロボットや機械を自動で動かすしくみをつくってみたい
- ☐ 自分で便利なアプリをつくってみたい
- ☐ ゲームやパソコンがどのように動いているか気になる

D

- ☐ 橋やダムなど、大きなモノをつくってみたい
- ☐ ゲームなどで、家や街づくりをすることが好きだ
- ☐ 津波や洪水など、自然災害から街を守ることに興味がある
- ☐ 自分で家を建ててみたい

E

- ☐ 理科の実験で、物質を混ぜたり、反応させたりすることは楽しい
- ☐ 料理やお菓子づくりなど、正確に分量をはかってつくるのが得意だ
- ☐ ペットボトルなどの素材が、何からできているか気になる
- ☐ 地球温暖化など、環境問題に興味がある



F

- ☐ 絵をかくことが好きだ
- ☐ 美術の授業が好きだ
- ☐ パッケージデザインに興味がある
- ☐ モノをつくるときは、見た目のよさにこだわりたい



チェックの数を数えたら…
結果は最後のページへ！

GO!

工業高校は実習が楽しい！

工業高校では、1年生から実習がスタートします。
実習のときは実習服に着替え、
実習棟や校庭で行います。
仲間との実習は工業高校の醍醐味です！



① 溶接 VR 実習



② ドローン実習



③ 制御実習



④ ロボットアーム実習

⑤ 旋盤実習



- ① 鳥取県立米子工業高等学校
- ② 高知県立高知工業高等学校
- ③ 香川県立志度高等学校

- ④ 北海道北見工業高等学校
- ⑤ 北海道旭川工業高等学校

工業高校で広がる選択肢



担い手不足を背景に、今後も求人倍率（一人あたりの求人数）は高くなることが予想されています。

※高校新卒者全体だと
一人あたり **4.10 社**

工業系高校の求人数
一人あたり

35.4 社

（令和 7 年度）

工業高校の卒業生
（令和 8 年 3 月 62,896 名）は
地元の企業をはじめ、
県外の企業でも活躍中！

工業高校だけの
特別枠

就職内定率

99.4%

（令和 8 年 3 月卒業生）

工業系高校生のうち
就職希望者の割合

64.4%

（令和 8 年 3 月卒業生）

就職先（一部抜粋）

- 自動車 トヨタ自動車、スズキ、本田技研工業、日産自動車、マツダ など
- 鉄道 JR 各社、名古屋鉄道、近畿日本鉄道、阪急電鉄、東急電鉄 など
- メーカー 小松製作所、JFE スチール、三菱重工業、クボタ、日立製作所 など
- 建設 大成建設、鹿島建設、積水ハウス、大和ハウス工業、住友林業 など
- 電気 電力各社、関電工、古河電気工業、各地区の電気保安協会、日本電気 など

工業高校は人気企業への就職がすごい！



右の二次元コードを読み込むと、全国の工業高校一覧を見ることができます。

資格取得にチャレンジ！

工業高校では、専門学科に関連する国家資格が取得できます。
技術者の仕事には国家資格が必須となるものもありますが、
工業高校であれば、在学中にさまざまな資格の取得にチャレンジできる環境が整っています。

機械系

- ・ 2・3 級機械加工技能士
- ・ ガス溶接技能講習
- ・ アーク溶接特別教育 など

電気系・電子系

- ・ 第二種電気工事士 / 第一種電気工事士
- ・ 第三種電気主任技術者
- ・ 特殊無線技士（陸上・海上）など

情報系

- ・ IT パスポート試験
- ・ 基本情報技術者試験 / 応用情報技術者試験
- ・ ネットワークスペシャリスト など

土木系・建築系

- ・ 測量士 / 測量士補
- ・ 2 級建築施工管理技士補 / 2 級土木施工管理技士補
- ・ 二級建築士 / 木造建築士 * など

化学工業系

- ・ 危険物取扱者（甲種・乙種・丙種）
- ・ 公害防止管理者
- ・ 毒物劇物取扱責任者 など

デザイン系

- ・ 色彩検定
- ・ カラーコーディネーター検定試験
- ・ トレース技能検定 など

* 卒業時に受験資格を取得



各種検定や競技大会の成果は、「ジュニアマイスター顕彰制度」の認定を受けるための得点となり、進路活動に生かすことができます。

公務員を目指す
なら工業高校！

地域によっては、工業高校生を対象とした公務員（県職員・市職員など）の
学校推薦枠があります。また、消防士や警察官、自衛隊などを目指す生徒も
多いです。工業高校から公務員を目指すのもアリかも！

10,362 名

（令和 8 年 3 月卒業生）

推薦入学による
理工科系大学等への進学者



国立大学には地元の工業高校と積極的に連携をはかっている地区もあります。
国公立大学への進学は以前より有利になっています。

就職・進学どちらを選んでも
工業高校で学んだことは
将来確実に生かせるね！



684 名

国公立大学

5,417 名

私立大学

4,261 名

専修学校・
工業高等専門学校など

進学先（一部抜粋）

● 国公立大学合格者数（人）

公立諏訪東京理科大学	27
新潟大学	26
大分大学	25
長岡技術科学大学	25
室蘭工業大学	25

● 私立大学合格者数（人）

金沢工業大学	359
日本大学	306
大阪電気通信大学	253
愛知工業大学	249
日本工業大学	219

工業高校から 4 年制大学に進学できる！

工業高校の3年間

年間行事

4月

5月

6月

7月

8月

●入学式
●始業式

●校外学習

●計算技術検定 ●終業式

●夏休み
●インターン
シップ

1年生6月 計算技術検定

関数電卓を使った「計算技術検定」に挑戦！



2年生8月

インターンシップ ①②③

地域の企業で3～5日間ほどの就業体験！
この機会に魅力を感じた生徒は、卒業後、そのままインターンシップ先の会社に就職することもあります。

全学年10月 体育祭・文化祭

④⑤⑥⑦⑧⑨

普通科とはひと味違う、工業高校の体育祭や文化祭！
身に付けた技術を生かして自分たちで巨大な入場門を製作するなど、ものづくりの力が発揮される学校行事です。



入学したらどんな勉強をするの？

1年生の専門科目は基礎・基本が中心！

どの学科でも、ものづくり実習を通じて基本となる技術を身に付け、さらにプログラミングや情報技術などの基礎も学びます。また、各学科の専門科目を1年生から学ぶ学校もあります。

2・3年生では専門科目の数も増え、各学科の専門的な知識や技術を身に付けます。また、3年生では課題研究にも取り組みます。

- ① 高知県立高知工業高等学校
- ② 埼玉県立久喜工業高等学校
- ③ 神奈川県立横須賀工業高等学校

- ④ 佐賀県立嬉野高等学校
- ⑤ 広島市立広島工業高等学校
- ⑥ 兵庫県立兵庫工業高等学校

- ⑦ 静岡県立浜松城北工業高等学校
- ⑧ 埼玉県立川越工業高等学校
- ⑨ 山梨県立韮崎工業高等学校



右の二次元コードを読み込むと、全国の工業高校一覧を見ることができます。

学年ごとにいろんな体験をするよ！

9 月

- 始業式
- 就職活動
(7～9月)

10 月

- 体育祭・文化祭

11 月

- 産業フェア

12 月

- 修学旅行
- 終業式

1 月

- 始業式
- 情報技術検定

2 月

- 課題研究発表会

3 月

- 卒業式
- 終業式

3年生7～9月 就職活動¹⁰



全学年2月 課題研究発表会^{15 16 17}

1・2年生も、
3年生の「課題研究」
の発表会に参加！
▶ p.12



15



11

1・2年生11月 産業フェア¹¹

地元の産業フェアでさまざまな
会社の仕事内容を見学！



16

2年生12月 修学旅行^{12 13 14}



12



13



14

1・2年生1月 情報技術検定

コンピュータやプログラミングの
基礎をマスターして「情報技術検
定」に挑戦！



17

工業高校のキャリア教育って何するの？

長野県長野工業高等学校の「総合的な探究の時間」での一例を紹介！

一学期：自己分析・自己理解を行い、自分の適性や将来などを考える。

二学期：金融リテラシー（クレジットカード、資産形成など）を学ぶ。

三学期：起業や社内の新規事業に不可欠な「起業家精神」を学ぶ。

各校の教育方針や特色に合わせた取り組みで、社会での活躍に必要な資質・能力を身に付けます！

- ¹⁰ 北海道滝川工業高等学校
- ¹¹ 長崎県立長崎工業高等学校
- ¹² 栃木県立小山北校高等学校

- ¹³ 石川県立羽咋工業高等学校
- ¹⁴ 長崎県立佐世保工業高等学校
- ¹⁵ 石川県立工業高等学校

- ¹⁶ 北海道帯広工業高等学校
- ¹⁷ 福岡県立香椎工業高等学校

進路決定までの道のり

高校 3 年生

5 月 三者面談

資格 を生かす



北海道旭川工業高等学校
電気科

なおや NAOYA

電気工事士
を取得したい！



父

行きたい会社は決まってるのか？

部活動の先輩が就職した会社がいいなと思ってるよ。



なおや



先生

今のうちに資格の勉強をしておくとよいかもしれません。
就職後も役立つよ。

好き を仕事に



宮崎県立延岡工業高等学校
機械科

だいき DAIKI

インターンシップ
楽しかった！



母

進路はどう考えているの？

インターンシップで行った会社への就職を考えてるよ！
ものづくりがしたい！



だいき



先生

就職活動に向けて準備していきましょう。
まずは自己分析から！

学び を深める



長野県長野工業高等学校
建築学科

ゆい YUI

就職？進学？

就職も考えていたけれど、大学に進学して、もっと勉強したいです。



ゆい



先生

指定校推薦に向けて、普通科目と専門科目の勉強を頑張ろう！

進学した先輩もいるみたいだし、大変だろうけど応援するわ。



母



とうとう高校3年生！進路どうする？

6月～ スキルアップ！

進路決定！

電気工事士の資格に挑戦！



第二種電気工事士の資格ゲット！
自信がついた！

next

(株)日立製作所

▶ p.15 採用担当者インタビュー！

みんなで放課後に勉強し、**国家試験に合格！**まさか高校生のうちに資格が手に入るなんて思ってませんでした。先生の**熱心な面接指導**や**先輩方の実績**のおかげで、憧れの会社から内定をもらうことができました。社会に出てからも、もっと難しい資格にチャレンジしていきます！



マイコンカーラリーの大会に出場！



大会で入賞できた！
ものづくりがやっぱり好きだ！

next

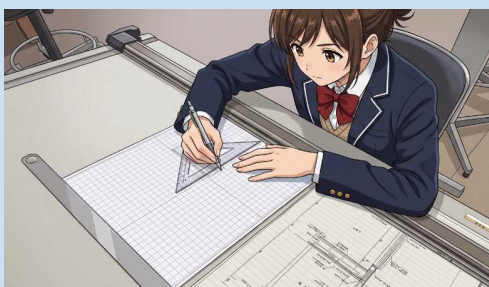
日産自動車(株)

▶ p.15 採用担当者インタビュー！

大会に向けて、マシンの調整を仲間と毎日のように夢中でやり、「**ものづくりが本当に好きだ！**」とあらためて思いました。**インターンシップ**で入りたいと思う会社に出会い、無事に内定をゲット！自分の「好き」をまっすぐに追いかけてきて、本当によかったです！



製図をきわめて強みを伸ばす！



製図コンテストで入賞！
推薦入試でアピールできる！

next

金沢工業大学

実習で製図を学ぶうちにどんどん楽しくなり、**製図コンテストで入賞**できました！「大学に行けるかな」と不安だったけど、「**もっと学びたい**」という気持ちが強くなり、**迷わず大学進学**を選びました。工業高校で学んできたからこそ、有利に進路を切り拓けたと思います。



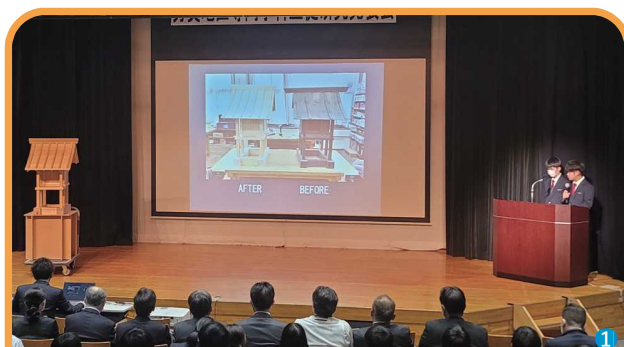
ものづくりの成果

課題研究・部活動

工業高校では「ものづくり」に取り組む機会がたくさんあります。仲間と意見を出し合いながら、社会に役立つものや地域に貢献するものなどを形にし、さまざまな場所で成果を発表します。



課題解決力、コミュニケーション能力、
プレゼンテーション能力が身に付くよ！



作品 鹿島神社の末社の新調
末社を解体し、図面におこして新しい末社を製作



作品 ファッションショー EPOCH
たつの皮革の魅力を表現



作品 エコランカー
高校生エコカーコンテストに出場



作品 電気自動車
EV 本田宗一郎杯 Honda エコマイレージチャレンジ全国大会に出場



作品 防災倉庫
災害対策の基盤となる防災倉庫を基礎から建築



作品 鐘
古代中国の打楽器「鐘」を復元

- ① 栃木県立真岡工業高等学校（建設科）
- ② 埼玉県立狭山工業高等学校（機械科）
- ③ 鳥取県立米子工業高等学校（建設科）

- ④ 兵庫県立龍野北高等学校（総合デザイン科）
- ⑤ 埼玉県立秩父農工科学高等学校（電気システム科）
- ⑥ 兵庫県立相生産業高等学校（機械科）



右の二次元コードを読み込むと、全国の工業高校一覧を見ることができます。

学びを生かして全国へ！

大会

高校生ものづくり コンテスト

授業や実習で身に付けた技術を生かし、ものづくりの腕を競います。全国大会を目指す生徒も！



マイコンカーラリー

自分でプログラムした車がコースを読み取り、最速でのゴールを目指します。

工業高校にも女子がたくさんいるよ！とくに情報系、建築系、デザイン系、工業化学系に多いみたい！



ロボット コンテスト

仲間とつくったロボットで、アイデア・技術・チームワークを競います。

卒業後の活躍



最先端技術を支える！

半導体デバイスの基盤（シリコンウェーハ）を加工するオペレータをしています！



建築物をゼロから作りだす！

現場監督として職人さんを束ね、CADでの図面作成や工程管理なども行っています！

- ① 愛媛県立松山工業高等学校
- ② 長崎県立長崎工業高等学校
- ③ 香川県立志度高等学校

- ④ 北海道苫小牧工業高等学校卒業生
- ⑤ 北海道札幌工業高等学校卒業生

保護者インタビュー

●神奈川県立磯子工業高等学校 卒業生保護者

なぜ工業高校を選んだのでしょうか？また、お母さまが大学進学を希望するなか、なぜ就職を選んだのでしょうか？就活の裏側や進路が決定するまでについてお話を伺いました。



先生

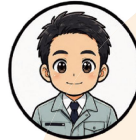
磯子工業高校を選んだ理由は 何ですか？

夫の方針で、「工業高校に入って就職してほしい」という育て方をしたので、長男も次男も三男も、磯子工業に入学しています。



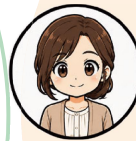
母

中学のときは、思うような成績は残せなかったのですが、高校から学び始める**工業の専門科目を頑張ってくれました**。その結果、**三人ともよい成績で卒業しました**。

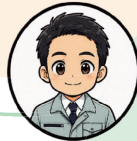


就職か、進学か、迷い ませんでしたか？

私は大学に行ってほしかったので、指定校推薦がいただけるのであれば「ぜひ、進学で！」と思っていました。



ところが、「僕は、人気の企業に行けるなら、就職がいい」と。「僕は入社したら辞めないよ」ともいうので、三男を信じて、就職を応援しました。



大卒と高卒の就職活動の違いは ありますか？

大学に行けば、自分で企業を探さなければなりません。一方で、磯子工業さんにいる限り、もし決まらなくても、**先生が次の会社を紹介してくださるので、そこは安心しておりました**。



就職先はどちら ですか？

日清オイリオさんにお世話になっております。



中学生の保護者にメッセージを お願いします！

工業高校は、3年間で社会人として通用するように指導して下さいます。また、どの科もきっと楽しいと思いますよ。



ですから、普通科目だけでなく、専門科目の勉強に関心があるなら、本当に工業高校はおすすめです。



インタビュー動画
こちらの二次元コードを読み込んでご覧ください。



採用担当者インタビュー

共通質問

- Q1** 工業高校卒業生の魅力や活躍ぶりを教えてください。
- Q2** 工業高校卒業後に入社した社員の働き方や制度、キャリアアップ、女性の活躍について教えてください。



● 株式会社日立製作所 人事勤労本部 採用担当者

A1

日立グループでは工業高校出身の先輩が多く活躍していますが、お話を伺うと皆さん「高校で学んだことが思わぬところで仕事に役立っている」「高校で習った知識が仕事のベースになっている」とのコメントが多いですね。工業高校で得たことが、社会生活での大事な基礎につながっていることがわかります。

また、将来こんな仕事にたずさわりたいという具体的なイメージを持って入社される方が多いのも、工業高校卒業生の特長だと思います。

A2

日立グループでは、入社後基本的に大学卒と高校卒での働き方に差はなく、同じスタートラインにならび、ともに成長していきます。研修でも年齢に関わらず同期として過ごし、絆を結んでいます。また、スキルを向上させるための企業内技術研修など、学びの機会も均等にあります。それはジェンダーにおいても同じです。

ほとんどの仕事は働き始めてから身に付けていくものです。今知らないことよりも、知ろうとする気持ちや行動が、皆さんの可能性を広げていきます。

● 日産自動車株式会社 生産企画統括本部 生産人事部 アシスタントマネージャー

A1

基礎的な知識や技能を習得しているため、社内教育・訓練において吸収が早く、早期に業務のコア人材として活躍してくれていますし、同期入社者の技能習得のサポートにおいても力を発揮してくれて、チームワーク・仲間意識の醸成にも一役買ってくれています。また、自身はこうなりたいと目標を持っているので、自己成長のための苦勞を惜しむことなく、様々なことに興味を持って積極的に取り組む姿勢を高く評価しています。

A2

試作、生産現場の幅広いモノづくり分野で活躍いただきます。必要な資格、免許もサポートを得ながら取得できます。専門・管理スキルも経験年次に応じて学び、将来的には現場監督者はもちろん、専門性を更に伸ばしつつ人材育成においても活躍いただきます。性別関係なくステップアップでき今では女性も監督者として活躍しています。福利厚生では、出生・育児・介護休職制度や時短勤務など、会社生活に必要なサポートや制度があります。

● 京成建設株式会社 総務部 人材開発課長

A1

基礎的な知識や技術を身に付けた状態で入社するため、早期から現場で力を発揮できる点が大きな魅力です。施工管理職への意欲も高く、学生時代に2級施工管理技術検定を取得するなど積極的に学ぶ姿勢が見られます。今年の新入社員研修では、測量機器の据え付けの速さで全体1位になるなど活躍し、自信を持って取り組む姿が印象的でした。

このように工業高校での学びが実際の現場でも発揮されています。

A2

施工管理職として、現場で活躍しています。入社後は研修を通じて基礎から学び、資格取得制度も充実しているため、段階的にスキルアップできます。現場経験を積みながら主任や所長へとステップアップし、責任ある仕事に挑戦できます。

また、労働環境の改善も進み、ワークライフバランスの向上に取り組んでいます。女性の施工管理職も増えており、更衣室やトイレなど作業所環境の整備も進むなど、働きやすい環境づくりを推進しています。

工業高校で広がる未来



自分が関わった車を街で見かけるたび、大きなやりがいを感じます。工業高校は、「好きなこと」に向き合いながら、自分らしい生き方を見つけれられる最高の場所でした！
(だいき 機械系エンジニア)

高校で取った資格や実習での学びが、今の仕事で本当に役立っています。周囲に流されず、自分の興味を信じて工業高校を選んだことは、大正解でした！
(なおや 電気系エンジニア)

工業高校では…

●ものづくりを学べる

座学のほかに、実習や資格取得で専門的に学べる！

●就職も進学も目指せる

おおむね就職7割、進学3割！
進学に手厚い学校も！

●地元でも全国でも活躍できる

地元や県外の優良企業や大手企業からたくさんの求人が！



高校で学んだ基礎があるから、大学の講義に余裕をもって臨めています。「工業は男の子ばかりで就職だけ」なんて全然違った！やりたいことに打ち込めた3年間は、今の私を支える大きな財産です。
(ゆい 建築学部大学生)



工業高校から広がる未来を応援します！
ぜひ工業高校にきてください！

お近くの
工業高校の
学校説明会へ！

学科診断テストの結果 (▶ p.5) チェックが一番多かったアルファベットを確認！

A のあなたは
機械系

B のあなたは
電気・電子系

C のあなたは
情報系

D のあなたは
建築・土木系

E のあなたは
工業化学系

F のあなたは
デザイン系



公益社団法人

全国工業高等学校長協会

<https://zenkoukyo.or.jp/>

発行
2026年09月01日